

2027年3月期 第1四半期 決算報告

2026.8.7

株式会社第一ライフグループ

目次・為替レート

- 本日のポイント [3](#)
- グループ各社の業績概要 [14](#)
 - DL [15](#)
 - DFL [20](#)
 - DNL [22](#)
 - PLC [23](#)
 - TAL [25](#)
 - DLVN [26](#)
- グループEV [28](#)
- 参考データ [30](#)
 - DL資産運用 [32](#)

為替レート

	米ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円
2026/6末	162.39円	185.35円	111.56円
2026/3末	159.88円	183.41円	109.68円
2025/12末	156.56円	184.33円	104.82円
2025/9末	148.88円	174.47円	97.89円
2025/6末	144.81円	169.66円	94.50円
2025/3末	149.52円	162.08円	93.97円
2024/12末	158.18円	164.92円	98.50円
2024/9末	142.73円	159.43円	98.73円
2024/6末	161.07円	172.33円	107.00円

(1) 本資料内においては、内部モデルを用いて算出したESRについて、「ESR」と呼称しています。
(2) ESRは、経済価値ベースの所要資本に対する経済価値ベースの適格資本の割合を示す指標です。ESRはマネジメントの判断に供することを目的として経済価値ベースの新たなソルベンシー規制(J-ICS)等を参考に算出しています。なお、算出にあたっては一部簡易的な計算方法を用いており、計算方法および算出結果の正当性・妥当性について第三者機関等による検証・レビューは受けていません。

今回決算のポイント

グループ修正利益は進捗率28%、前年同期比で大幅増益



グループ修正利益

2027年3月期 1Q

1,581億円

前年同期比 +113%

DLで順ざや・有価証券売却益が想定を上回るなどグループを牽引

通期見通し5,600億円に対して進捗率約28%

新契約実績

2027年3月期 1Q

新契約ANP

1,350億円

前年同期比 +7%（為替影響除き +4%）

国内・海外ともに前年同期を上回る堅調な進捗。解約率(DL・DFL)は低位安定

新契約価値
(国内概算値)

約200億円

進捗率:約20%

DLの新契約獲得は堅調も、新契約マージンがコスト要因で低下し、想定を下回った

グループESR

2026年6月末:概算値

約206%

前期末比 約▲13%pt

国内株価上昇等により適格資本は増加したものの、金利上昇に伴う大量解約リスクの増加、M&A案件によるのれん増加等の影響で低下

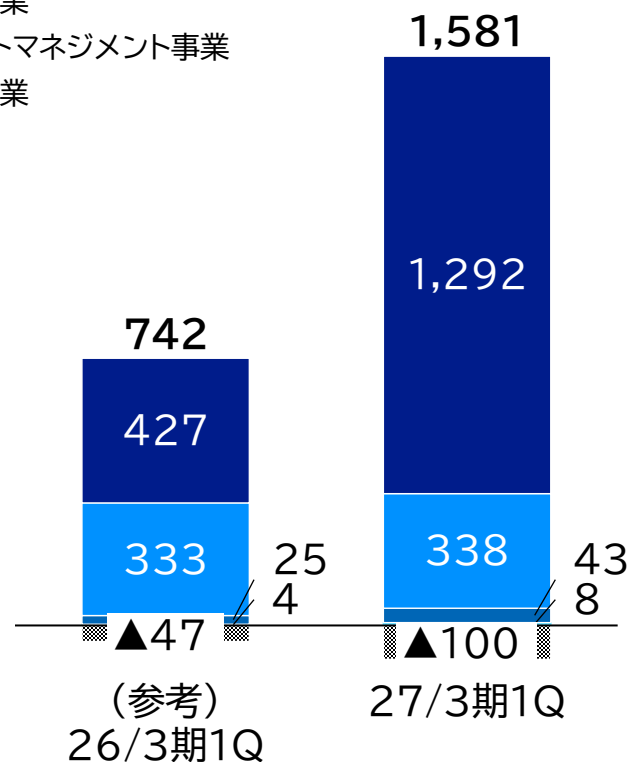
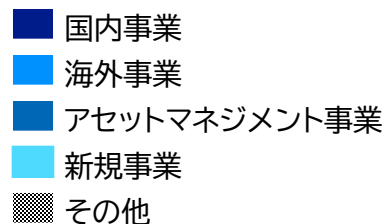
通期見通しに対する進捗



国内事業がグループを牽引し、通期見通しに対して順調な進捗

グループ修正利益

(億円)

進捗率
(通期見通し対比)国内事業⁽¹⁾

- (DL) 利配増加により順ざやが上振れた他、有価証券売却益の上振れもあり予算を超過
- (DFL) 着実なAUM増加に加え、円安効果もあり順ざやが増加し、予算を超過

32%

海外事業

- (PLC) 利回り向上を企図したりバランスに伴う運用損はあったものの、概ね予算通り
- (TAL) 保険金支払いからの回復が想定より遅れていることで予算をやや下回る
- (DLVN) 販売量低下に伴う新契約費用抑制により予算を超過

21%

アセットマネジメント事業

- AMOne、VTX、Canyonが受託増等により順調であり、概ね予算通り

19%

新規事業

- (BO) 福利厚生事業において、新規獲得が順調に進み、会費収入は計画を上振れ。事業費抑制もあり、予算超過

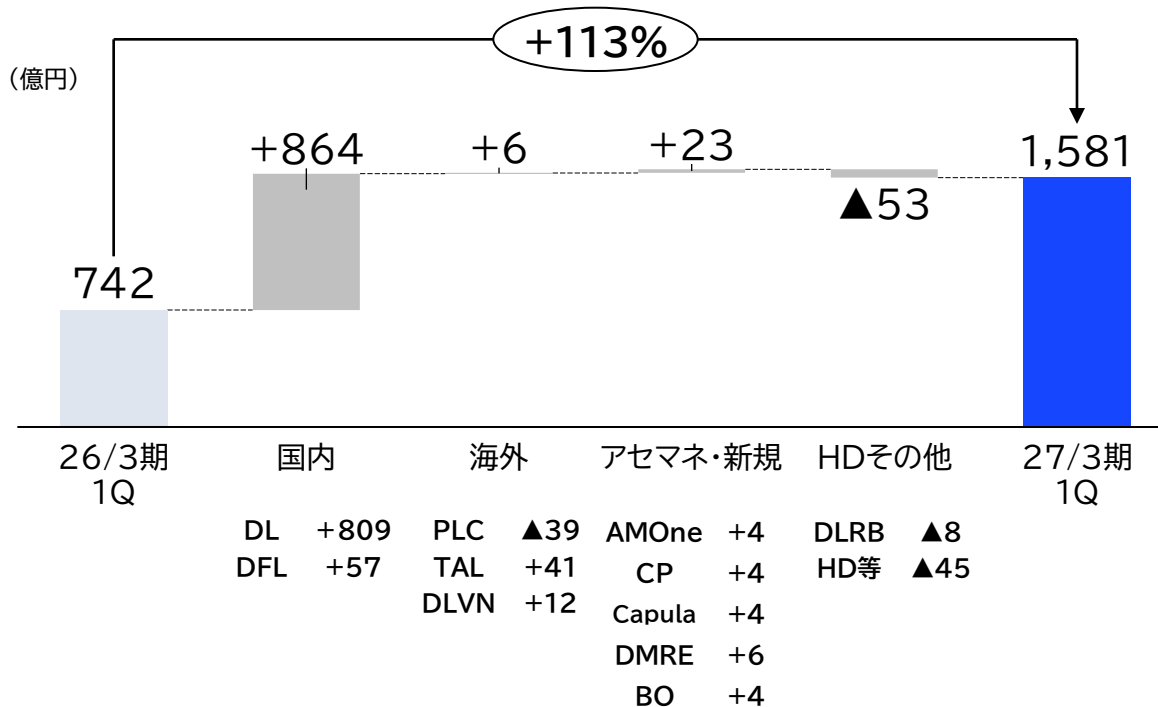
27%

(1) 事業別・通期予想比については、DFL・DNLにおけるグループ内再保険に係る損益等を調整した数値を表示

前年同期比較

グループ修正利益は前年同期比+113%となり大幅増益を実現

グループ修正利益・前年同期比増減



27/3期 1Q	1,292	338	51	▲100	1,581
26/3期 1Q	427	333	29	▲47	742

国内事業

- (DL) 国内株式売却が順調に進捗したことでキャピタル損益が大幅に増加した他、円債入替え等による順ざや増加もあり、大幅に増益
- (DFL) AUM増加に伴い順ざや等の利益水準が拡大した他、円安効果もあり、前年同期を上回る

海外事業

- (PLC) 代理店子会社売却に伴う前期の一時益剥落の影響で減益
- (TAL) 支払増の影響はあるも、Challenger社の利益貢献等により増益
- (DLVN) 新契約費用の減少等により増益

アセマネ/新規事業

- (AM事業) AMOne、CP、Capula、DMREの貢献で増益
- (BO) 会費収入の増加や経費抑制により福利厚生事業で増益

HD・その他

- (DLRB) 社債スプレッド拡大に伴い減益も、足元(6月末)時点では減益要素は概ね解消

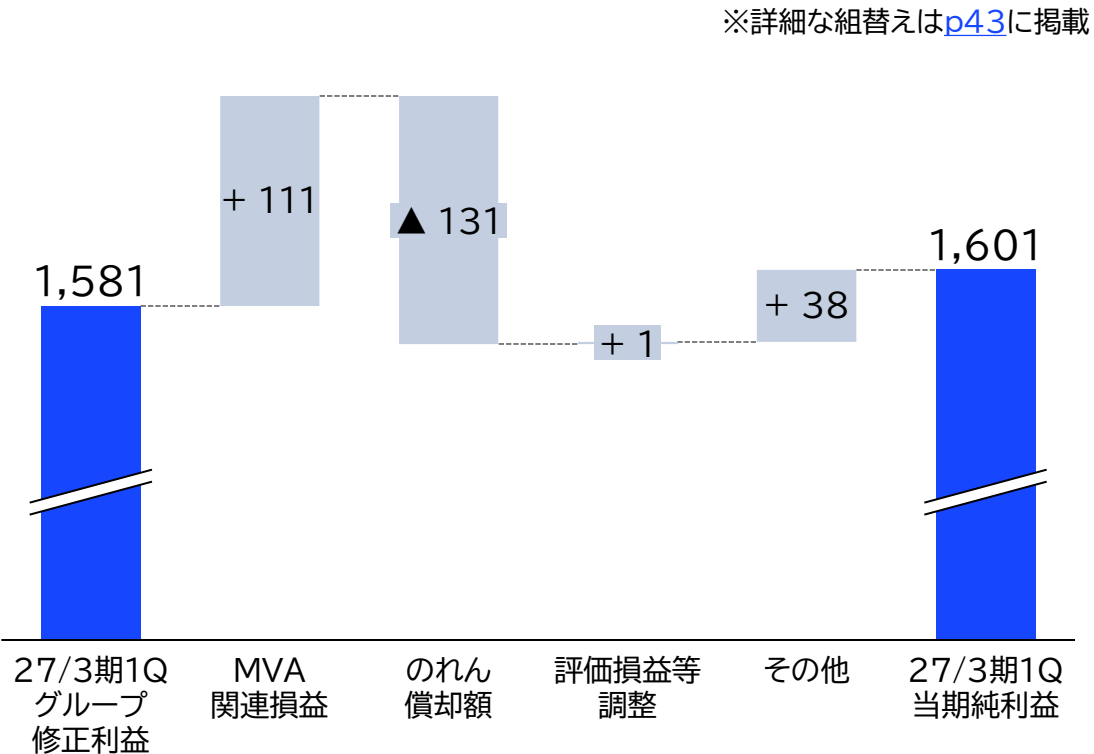
修正利益→当期純利益

修正利益と当期純利益に大きな差異は発生せず

- ▶ MVA関連損益やのれん償却額による差異はあるものの、会計利益とグループ修正利益に大きな乖離は発生していない
- ▶ 前期については、PLCにおける出再関連評価損等の一過性の差異を生む要因が多く発生していたが、今期は、そうした前期の一過性要因が剥落し、修正利益との差異については縮小している

修正利益・当期純利益 主な差異要因

(億円)



	27/3期 1Q	主な要因
MVA関連損益	+111 -	
のれん等償却額	▲131	[－] M&A実行による償却額増加
評価損益等調整	+1 -	
その他	+38 -	

国内金利上昇に伴う影響

- ▶ 金利上昇局面を捉えた責任準備金対応債券の入替え等により、円建債券ポートフォリオの利回り改善が継続
- ▶ DL・DFLの解約率は引き続き低位で安定。マッチング比率を100%以下でコントロールする一方、金利上昇に伴う大量解約リスクの増加やM&A実施の影響等により、ESRは前期末比13%pt低下の約206%
- ▶ 今後も金利変動リスクを適切にコントロールしつつ、さらなる順ざや拡大に向けて機動的な債券入替えを継続

国内金利の状況⁽¹⁾

	10年	30年
25/3末	約1.5% (+20bps) <	約2.5% (+60bps)
25/9末	約1.7% (+70bps) >	約3.1% (+60bps)
26/3末	約2.4% (+30bps) >	約3.6% (+20bps)
26/6末	約2.7%	約3.9%

資産運用 (DL)

順ざや

詳細: [p9](#)

金利上昇による影響

- 金利上昇局面を捉えた債券入替えにより、円確利ポートフォリオの利回りの改善が継続

27/3期1Qオペレーションによる効果

+ 約170億円

マッチング比率

[p18](#)

- 前年度末時点の債券売り越しを解消し、マッチング比率はやや上昇も、引き続き100%以下で安定的にコントロール

26/6末

91%

(26/3末比: +4%pt)

リスク モニタリング

解約率(DL・DFL)

[p19](#) [p21](#)

- DL一時払商品の解約率は小幅に増加も、DL全体としての解約率は引き続き低位で安定
- 今回開示よりDFLの解約率を公表。同じく低位で安定

**DL・DFLともに
低位で安定**

EV⁽²⁾

[p29](#)

- 国内株価上昇等により、グループEVは前期末比で約0.2兆円増加

26/6末

約9.8兆円

(26/3末比 +約0.2兆円)

経済価値

ESR⁽²⁾

[p12](#)

- 金利上昇に伴い解約リスク(大量解約リスク)が増加。出資に伴うのれん増加等もあり、ESRは前期末対比で低下

26/6末

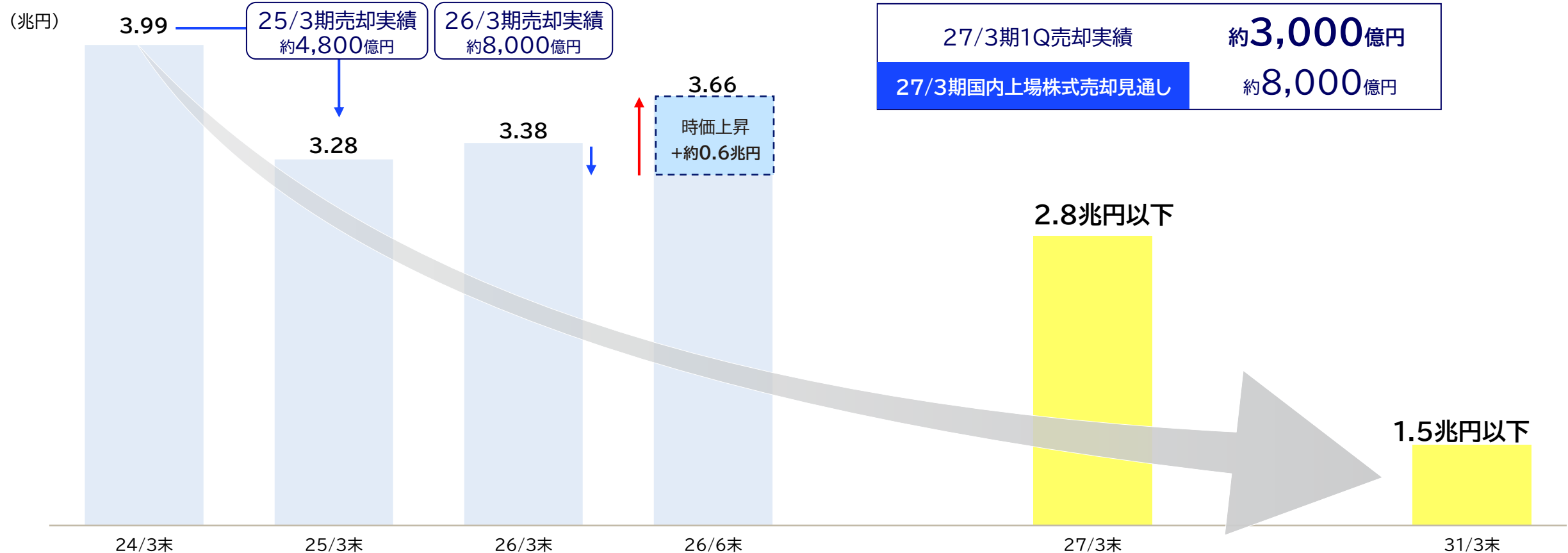
約206%

(26/3末比 ▲13%)

国内株式の売却は順調に進捗も、株価上昇を受け株式残高は増加

- ▶ 株価上昇の市場環境を捉え、1Qに国内上場株式約3,000億円を売却。27/3期の売却見通し約8,000億円に対して順調に進捗
- ▶ 一方、株価上昇による時価増加が売却額を上回り、26年6月末の国内上場株式残高は約3.7兆円に増加。現時点で売却方針に変更はなく、2Q以降も計画的な売却を継続

DL国内株式残高の推移と見通し



金利上昇局面を捉え、大規模な債券入替えを実行 順ざや拡大で基礎的な収益力は着実に伸長



- ▶ 株式売却益の上振れおよび国内金利の上昇を受け、円確定利付資産のリバランスは順調に進捗。1Q時点で約5,000億円の入替えを実施。27/3期の順ざやは期初想定より増加を見込む
- ▶ 足元の株価上昇による株式売却益の上振れを踏まえると、27/3期の円確定利付資産の入替え規模は期初想定を上振れる見通し。引き続き金融市場環境の変動を見定めた上で、ポートフォリオの入替えを進める方針

[DL]国内債券ポートフォリオの入替え

27/3期1Q実績

入替え額およびP/L影響

円確定利付資産入替え	約 5,000億円
入替えに伴う売却損:	約 2,000億円

順ざや改善効果
170億円⁽¹⁾/年程度

通期見通し(27/3期)⁽³⁾

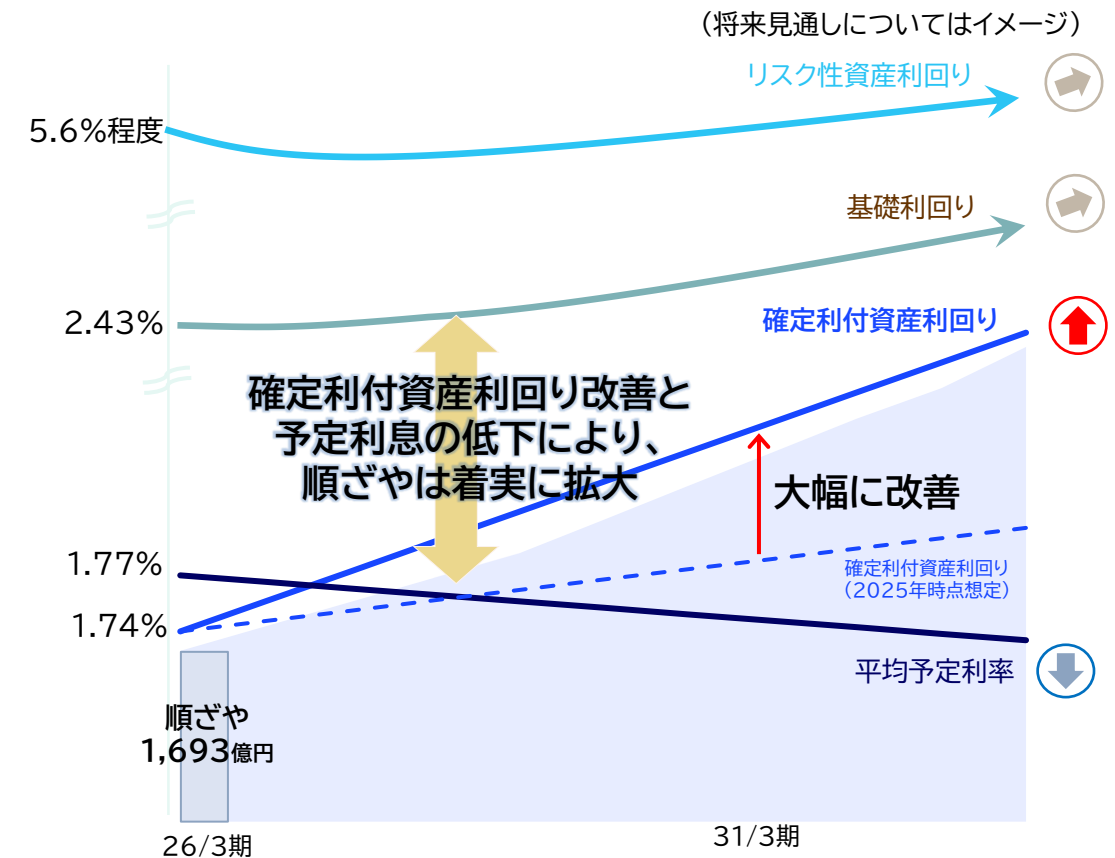
国内債券入替え想定額⁽⁴⁾

期初想定から上振れる見通し

順ざや改善効果
340億円⁽¹⁾/年程度
(うち27/3期寄与は260億円)

売却損見通し
5,400億円程度

[DL]順ざやと資産別利回り・平均予定利率の推移と見通し⁽²⁾



主要子会社別 | 27/3期 修正利益進捗状況

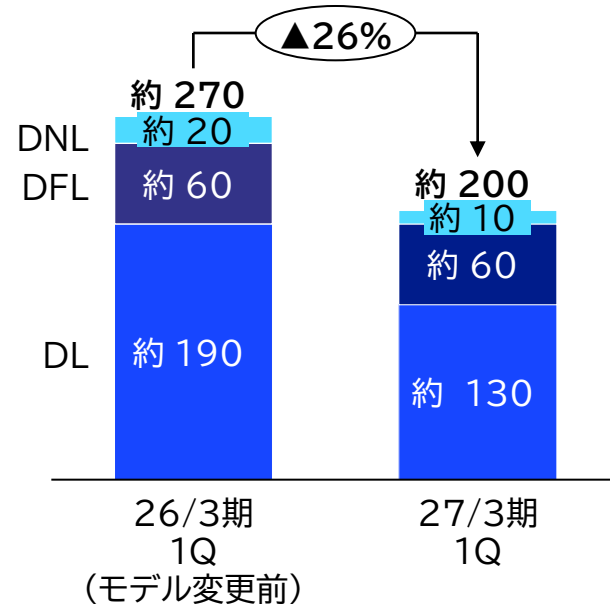
(単位:億円)	27/3期1Q 実績	26/3期1Q 実績	前年同期比	主な増減要因	27/3 通期予想	進捗率
第一生命	1,191	383	+ 809	[+] 順ざや(円債・オルタナ利配増、予定利息支払減)改善、有価証券売却損益の改善	3,710	32%
第一フロンティア生命	111	54	+ 57	[+] AUM増加等による順ざや増	385	29%
第一ネオ生命 第一アイペット損保	▲ 11	▲ 9	▲ 1	-	▲ 45	-
PLC	168	207	▲ 39	[-] 前期の一過性要因(傘下代理店売却)の剥落	845	20%
オセアニア	133	91	+ 42	[+] (TAL)Challenger社の利益貢献(26/3期2Qより持分法適用開始)	640	21%
アジア・その他海外	38	35	+ 3	[+] (DLVN)新契約費用の減少等	155	25%
アセットマネジメント事業	43	25	+ 18	[+] 資金フロー伸展(AMO・VTX)、受託手数料増加(CP)等	225	19%
ベネフィット・ワン	8	4	+ 4	[+] 会費収入増加や経費抑制による福利厚生事業の増益	30	27%
DLRB	▲ 24	▲ 16	▲ 8	[-] 資産スプレッドが負債評価スプレッド(A格)以上に拡大したことによる評価損	165	-
HD・その他	▲ 76	▲ 31	▲ 45	[-] 事業費・支払利息増等	▲ 450	-
合計	1,581	742	+ 840		5,600程度	28%

契約実績 – 新契約価値 / 新契約・保有年換算保険料

- 国内新契約価値は、DLにおいてインフレ率の上昇によるコスト増等により期初想定を下回ったことが影響し、国内3社合計で前年同期比▲26%の約200億円
- 新契約年換算保険料は、DLにおける堅調な販売で前年同期を上回った他、PLCがリタイアメント事業における定額年金の好調な販売、TALで団保の契約更改が前倒しで行われたこと等が寄与し、グループ全体で前年同期比+6.7%の1,350億円(為替影響除き+3.9%)

新契約価値(国内概算値)

(億円)	26/3期 1Q	27/3期 1Q	前年 同期比	進捗率 (通期予想)
	約270	約200	▲ 70	20%
DL	約190	約130	▲ 60	20%
DFL	約60	約60	▲ 0	20%
DNL	約20	約10	▲ 10	



新契約年換算保険料

(億円)	26/3期 1Q	27/3期 1Q	前年 同期比
国内4社計	894	895	+ 0.1%
DL	237	256	+8.0%
DFL	603	586	▲2.8%
DNL	36	35	▲2.5%
DIPT	18	18	▲1.3%
海外6社計	372	456	+22.4% (+12.8%)
PLC	272	322	+18.5% (+10.8%)
TAL	44	82	+85.0% (+56.7%)
PNZ	13	12	▲12.4% (▲16.1%)
DLVN	36	30	▲16.7% (▲19.8%)
DLKH/DLMM	7	10	+48.3% (+38.7%)
Daiichi Lifeグループ計	1,266	1,350	+6.7% (+3.9%)

保有契約年換算保険料

	26/3末	26/6末	前期末比
	35,578	35,911	+0.9% (+0.6%)
	19,620	19,633	+0.1%
	14,463	14,765	+2.1% (+1.2%)
	1,049	1,056	+0.7%
	445	457	+2.7%
	18,758	19,327	+3.0% (+1.1%)
	9,985	10,223	+2.4% (+0.3%)
	6,865	7,161	+4.3% (+2.5%)
	642	654	+2.0% (+1.8%)
	1,200	1,214	+1.2% (▲0.9%)
	66	75	+12.8% (+10.3%)
	54,336	55,238	+1.7% (+0.7%)

経済価値(グループESR・グループEV)※概算値

- ▶ グループEVは、M&A案件ののれん増加等の減少要因をDLの国内株価上昇の影響が上回り、前期末比微増の約9.8兆円
- ▶ 資本充足率(グループESR)は、グループEVと同様の理由で適格資本がほぼ横ばいであった一方、国内金利上昇による大量解約リスクの増加等をうけ所要資本が増加したことで、前期末比約▲13%pt減少の約206%

グループEV ※概算値

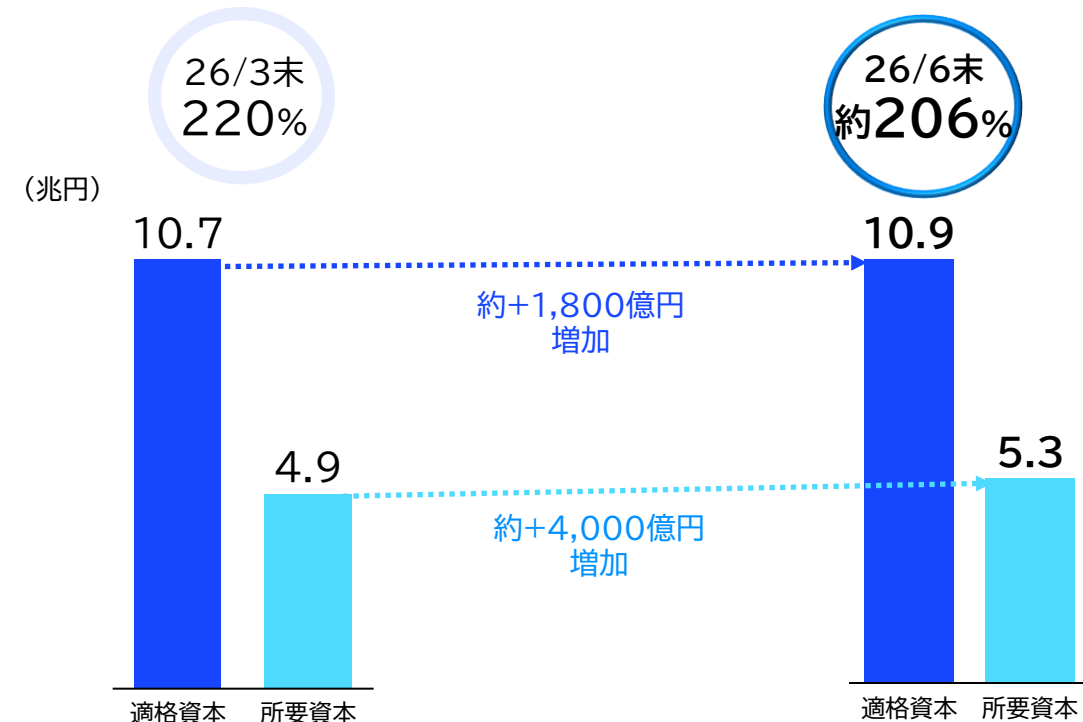
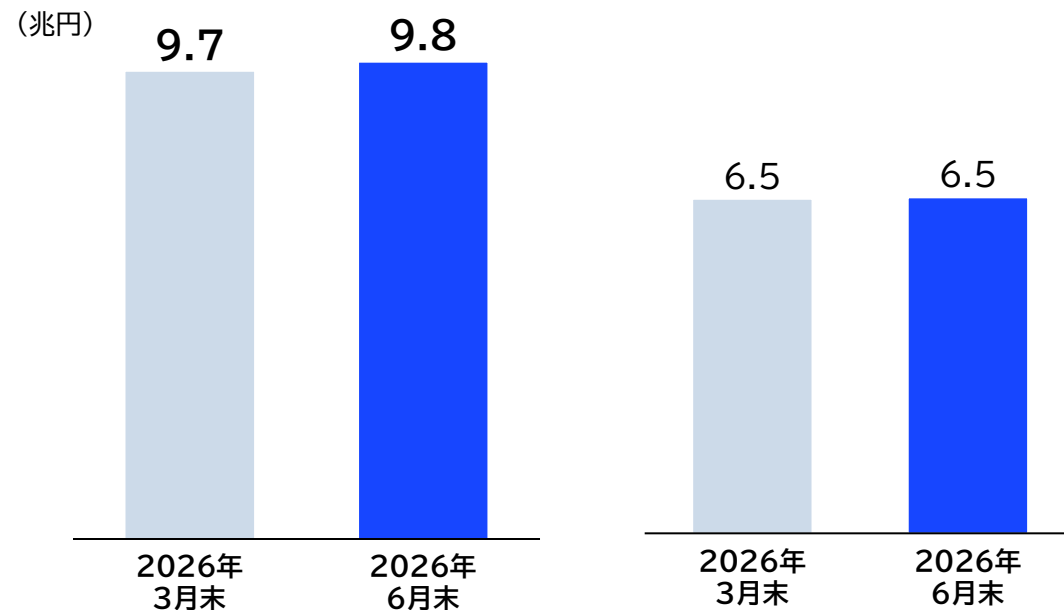
26/6末 約**9.8**兆円 (前期末比) +2%

資本充足率(グループESR) ※概算値

26/6末 約**206**% (前期末比) 約▲13%pt

グループ

DL



27/3期 通期業績予想

(億円)	26/3期 1Q	27/3期 1Q	前年 同期比	(%)	対通期予想 (今回)進捗率	26/3期 通期実績	27/3期 通期予想	前期比	(%)
連結経常収益	23,083	28,930	+ 5,847	+ 25%	27%	113,083	106,660	▲ 6,423	▲ 6%
第一生命	10,165	14,949	+ 4,784	+ 47%	32%	46,992	46,700	▲ 292	▲ 1%
第一フロンティア生命	6,972	8,345	+ 1,372	+ 20%	24%	37,735	35,040	▲ 2,695	▲ 7%
米プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾⁽³⁾	2,569	3,258	+ 690	+ 27%	33%	13,479	9,900	▲ 3,579	▲ 27%
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	2,186	2,378	+ 192	+ 9%	31%	8,540	7,620	▲ 920	▲ 11%
連結経常利益	849	2,511	+ 1,661	+ 196%	29%	7,537	8,690	+ 1,153	+ 15%
第一生命	786	1,970	+ 1,184	+ 151%	30%	6,528	6,620	+ 92	+ 1%
第一フロンティア生命	204	316	+ 113	+ 55%	54%	292	590	+ 298	+ 102%
米プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾⁽³⁾	28	210	+ 182	+ 648%	33%	149	640	+ 491	+ 330%
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	155	158	+ 3	+ 2%	22%	501	720	+ 219	+ 44%
連結純利益⁽²⁾	342	1,601	+ 1,258	+ 368%	31%	4,366	5,130	+ 764	+ 17%
第一生命	383	1,191	+ 809	+ 211%	32%	3,779	3,710	▲ 69	▲ 2%
第一フロンティア生命	133	217	+ 84	+ 63%	56%	187	390	+ 203	+ 109%
米プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾⁽³⁾	29	171	+ 142	+ 498%	33%	127	510	+ 383	+ 301%
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	100	114	+ 14	+ 14%	21%	363	540	+ 177	+ 49%
グループ修正利益	742	1,581	+ 840	+ 113%	28%	5,515	5,600程度	+ 85	+ 2%
グループ新契約価値	-	-	-	-	-	1,738	1,880程度	+ 142	+ 8%
1株あたり配当(円)						54.5	72	+ 17.5	+ 32%
(参考)基礎利益	894	1,551	+ 658	+ 74%	24%	6,295	6,500程度	+ 205	+ 3%
第一生命	630	915	+ 285	+ 45%	25%	3,727	3,600程度	▲ 127	▲ 3%

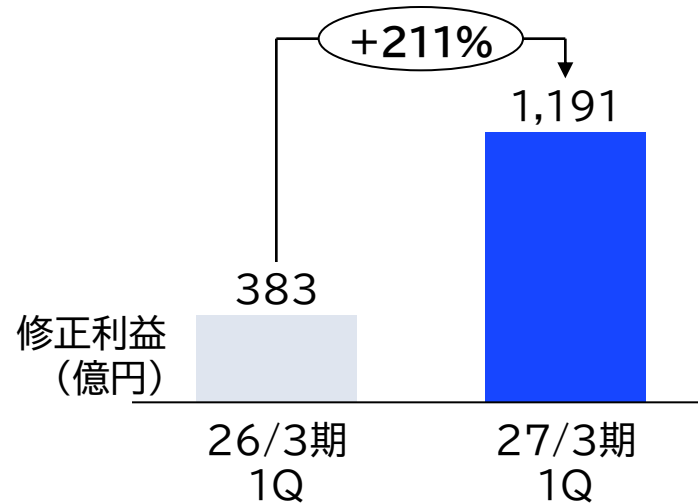
(1) PLCおよびTALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示 (2) 親会社株主に帰属する当期純利益
(3) LDTI(Long-Duration Targeted Improvements)を適用したことに伴い、26/3期の数値についてもLDTIベースに遡及適用

グループ各社の業績概要

[グループ各社の業績概要] 国内生命保険事業 – 第一生命



- ▶ 順ざやは、金利上昇局面における円債入替えを通じた利息収入の増加やオルタナティブ資産からの利配増加等により、前年同期比+224%増の444億円
- ▶ 事業費増加や保有契約のマージン低下等により保険関係損益は微減となったものの、順ざやの増加が大きく上回り、基礎利益は前年同期比+45%増の915億円
- ▶ 当期純利益は、基礎利益の増益に加え、主に国内株式の売却益増加による有価証券売却損益の改善等により、前年同期比+221%増の1,191億円



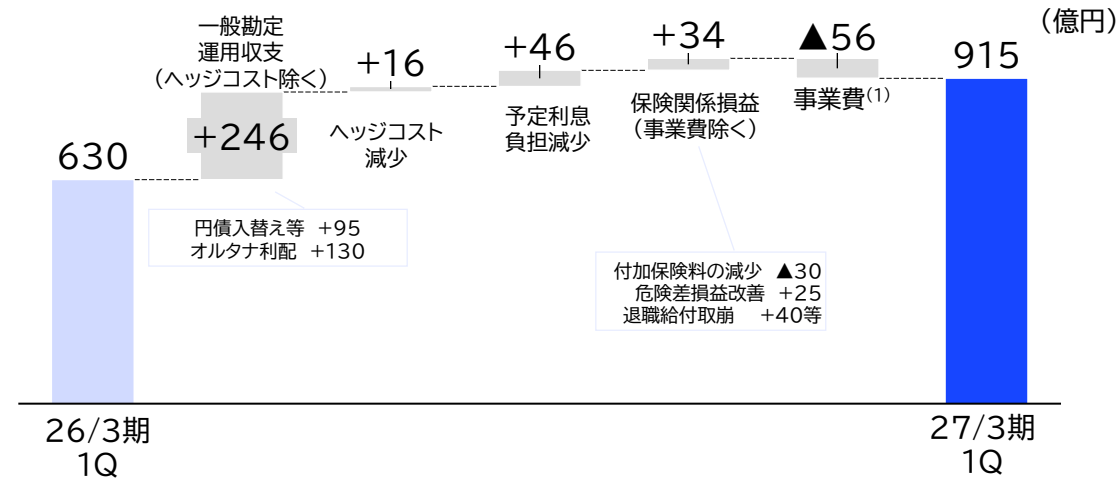
(億円)	26/3期 1Q	27/3期 1Q	前年同期比	(%)
保険料等収入	5,569	6,249	+ 680	+ 12%
基礎利益	630	915	+ 285	+ 45%
順ざや	137	444	+ 307	+ 224%
うちヘッジコスト	▲ 64	▲ 48	+ 16	
保険関係損益	493	471	▲ 22	▲ 5%
キャピタル損益	232	1,137	+ 905	+ 390%
有価証券売却損益	325	1,286	+ 961	
投信解約損益	87	30	▲ 57	
金融派生商品損益	▲ 156	▲ 260	▲ 104	
為替差損益(除くヘッジコスト)	▲ 20	81	+ 100	
有価証券評価損	▲ 3	▲ 7	▲ 4	
臨時損益	▲ 77	▲ 82	▲ 6	-
新規追加責任準備金繰入額	▲ 95	▲ 72	+ 23	
危険準備金繰入(▲)/戻入額(+)	20	-	▲ 20	
再保険関連収支	-	-	-	
経常利益(損失)	786	1,970	+ 1,184	+ 151%
特別損益	▲ 35	▲ 33	+ 2	
価格変動準備金繰入(▲)/戻入額(+)	▲ 30	▲ 30	-	
契約者配当準備金繰入額	▲ 230	▲ 262	▲ 32	
法人税等合計	▲ 138	▲ 484	▲ 346	
当期純利益(損失)	383	1,191	+ 809	+ 211%
(参考)基礎利益における再保険取引の影響額 ⁽¹⁾	約+65	約+65	約+0	
(参考)コア利益(税後)	-	463		

(1) 再保険取引の影響額: 19/3期より実施している戦略的な終身保険の再保険取引(出再)による、予定利息の軽減効果や保険関係損益に与える影響額(概算)

[グループ各社の業績概要] 第一生命 – 基礎利益・キャピタル損益の変動要因

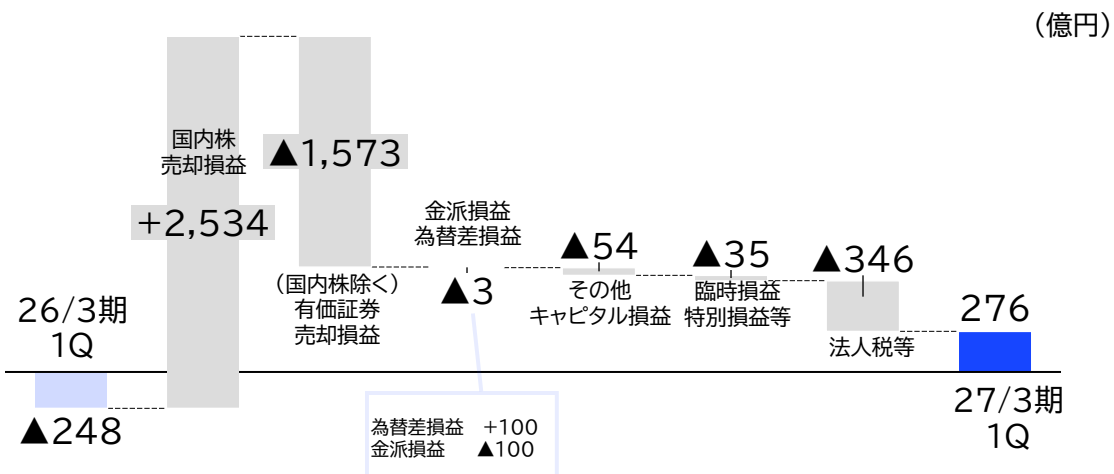


基礎利益の変動要因



- ✓ 一般勘定運用収支は、金利上昇局面での円建債券の入替え効果やオルタナティブ資産からの利配増加等より増益
- ✓ 保険関係損益は、付加保険料の減少や事業費の増加等があった一方で、死亡率の改善による危険差益改善や、退職給付費用の改善により前年同期比で微減

キャピタル損益等の変動要因



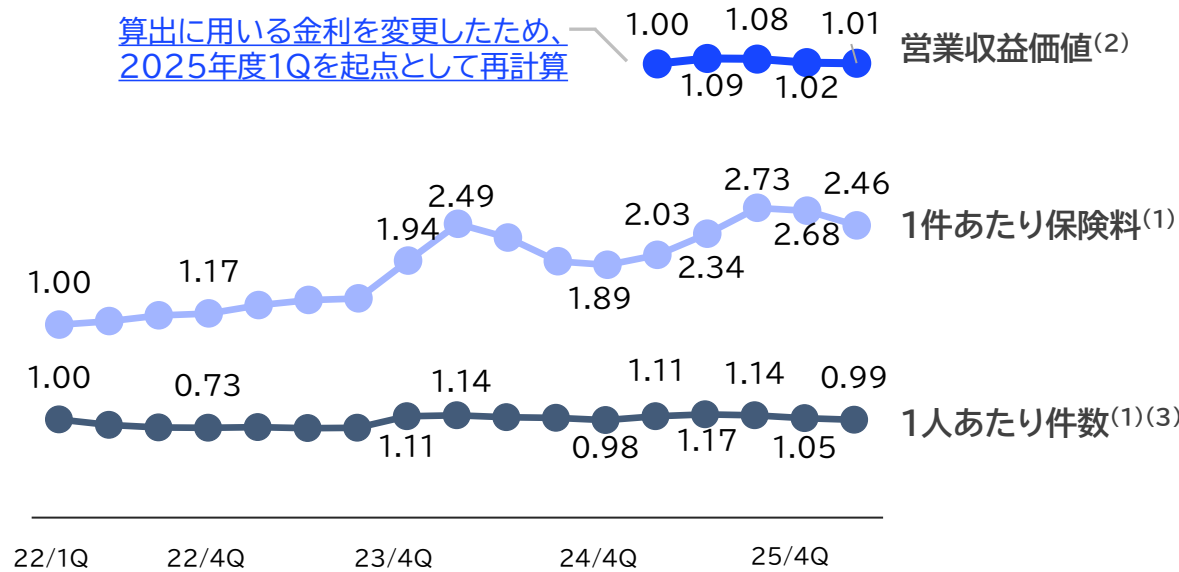
(億円)	26/3期 1Q	27/3期 1Q	前年同期比	予算比と増減要因
有価証券売却損益	325	1,286	+961	約+165
国内株式	630	3,164	+2,534	(+) 株価上昇に伴う売却益増
円建債券	▲433	▲2,041	▲1,609	(-) 責任準備金対応債券の入替え
外貨建債券	▲29	47	+75	(+) 前年同期の売却損の剥落
その他	157	117	▲40	(-) 外株売却益の減少等

- ✓ 株価上昇と株式売却の順調な進捗により国内株売却益が大きく増加。円建債券売却損も増加したが、前年同期を上回る有価証券売却損益となり、予算を超過

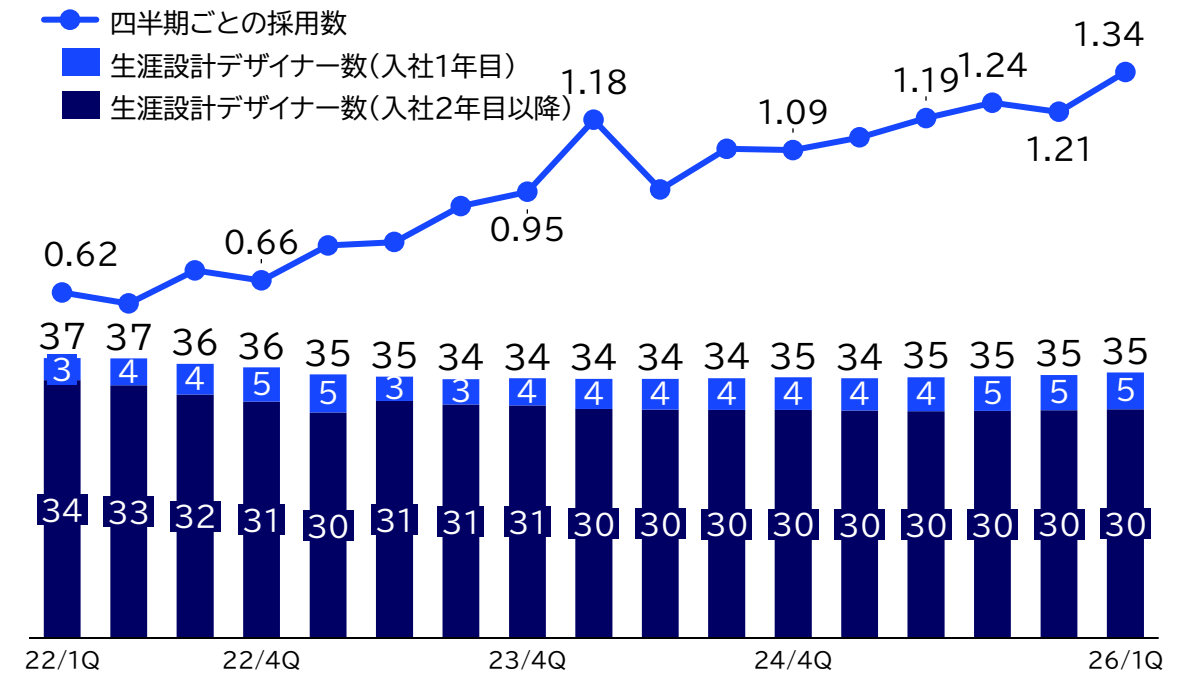
第一生命 契約業績・生涯設計デザイナー



営業収益価値の推移(生涯設計デザイナーチャネル)



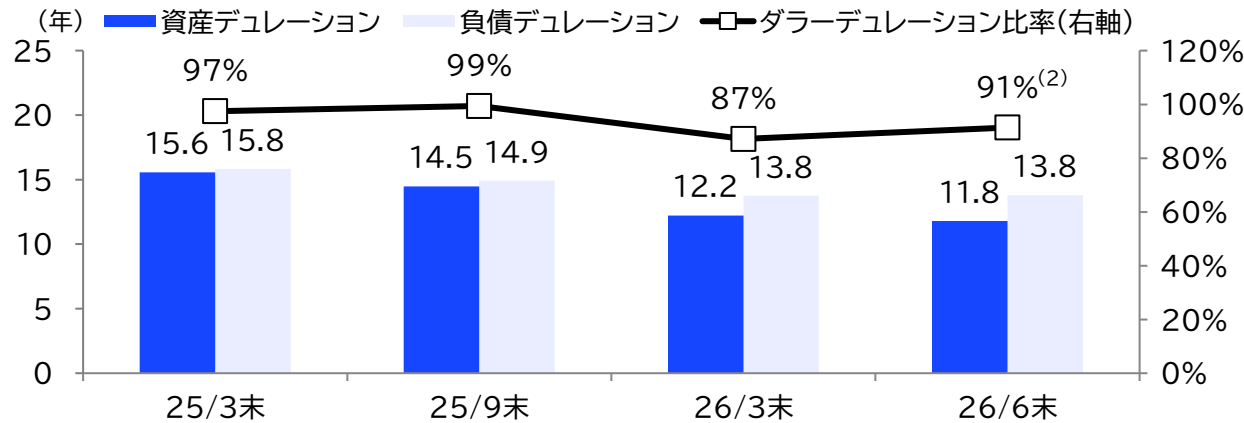
生涯設計デザイナー数の推移(千人)



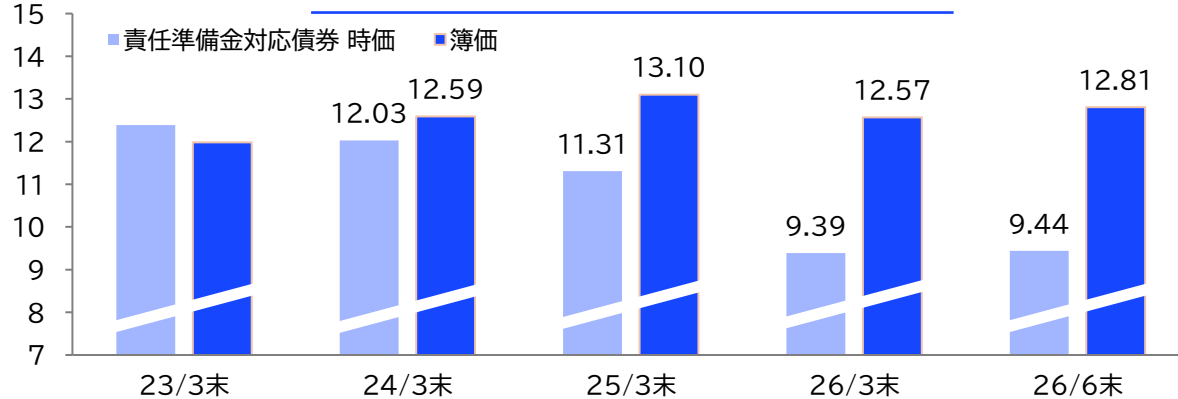
(1)2022年度1Qを1として指数化した数値。(2)営業部門の獲得収益を表す当社独自の指標。コスト控除前の経済環境の変動要因を除外した数値。
(3)入社1年目を除く生涯設計デザイナーの件数および在籍数で計算

【グループ各社の業績概要】第一生命 – 市場リスク削減の取組状況

デュレーション・責任準備金対応債券⁽¹⁾



責任準備金対応債券・デリバティブ残高



金利スワップ
(保険負債へのヘッジ会計適用分)

7,000億円

2,000億円

-

金利スワップション
(固定受/変動払)

-

-

-

国内株式の簿価・時価⁽³⁾

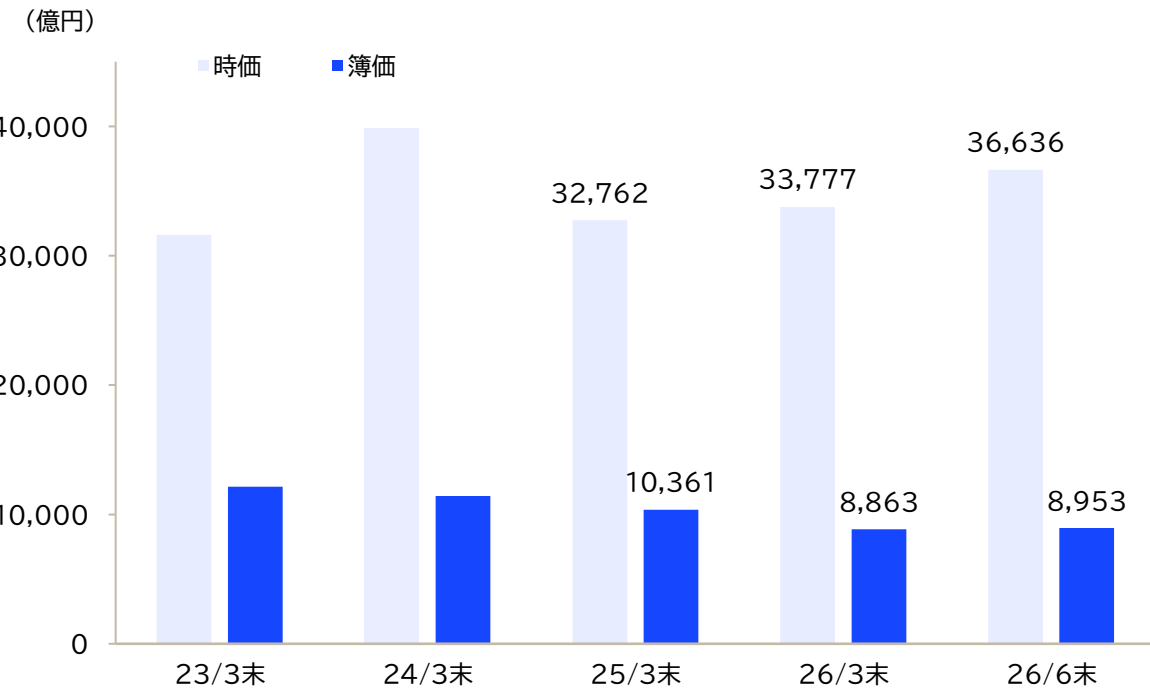
国内株式に関する売買状況
(27/3期1Q)

ネット売却額
(時価ベース)

3,075億円

売却損益

+3,166億円



国内株式リスク削減ポジション
(デリバティブ等のポジション残高)

5,564億円

7,291億円

4,839億円

[参考]外国株式リスク削減ポジション

-

300億円

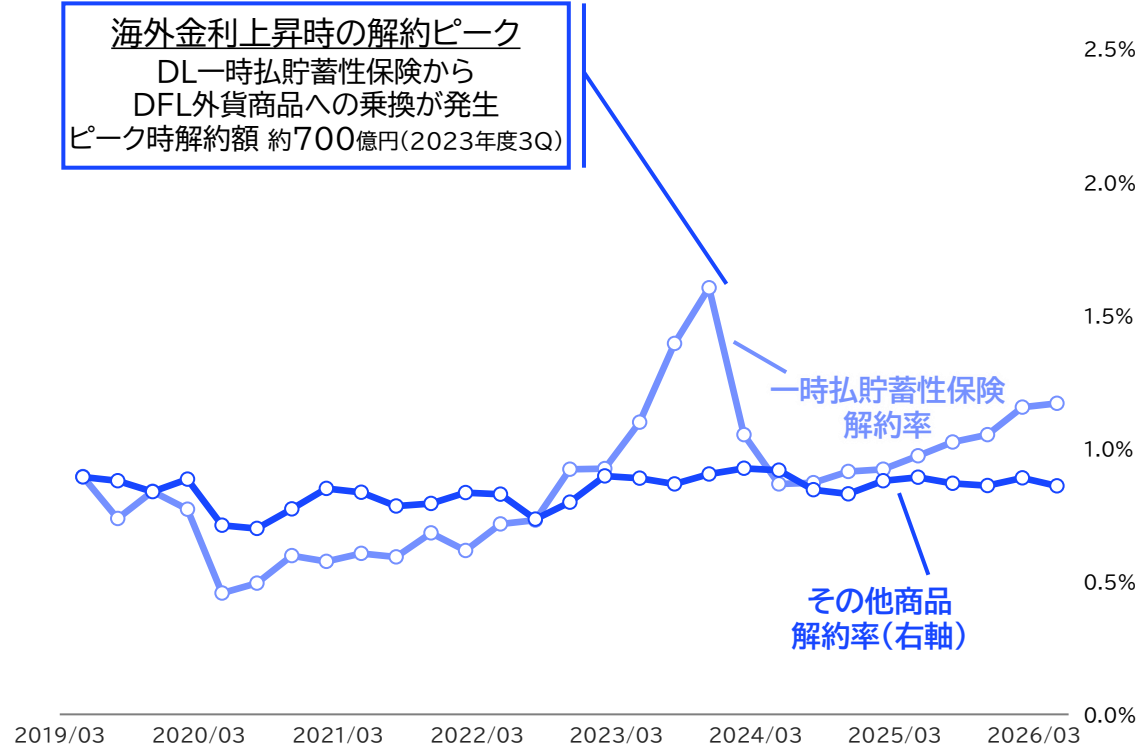
300億円

(1) 一般勘定資産のうち主に個人保険・個人年金に係る経理区分の保険負債と円建確定利付資産(金利スワップを含む)の経済価値ベースのデュレーション、および責任準備金対応債券・デリバティブ残高。「ダラーデュレーション比率」は、上記の資産・負債に関して「(資産デュレーション×資産時価)÷(負債デュレーション×負債現在価値)」にて計算。(2) オプション性のあるデリバティブポジションを加味した場合90%(26/6末)

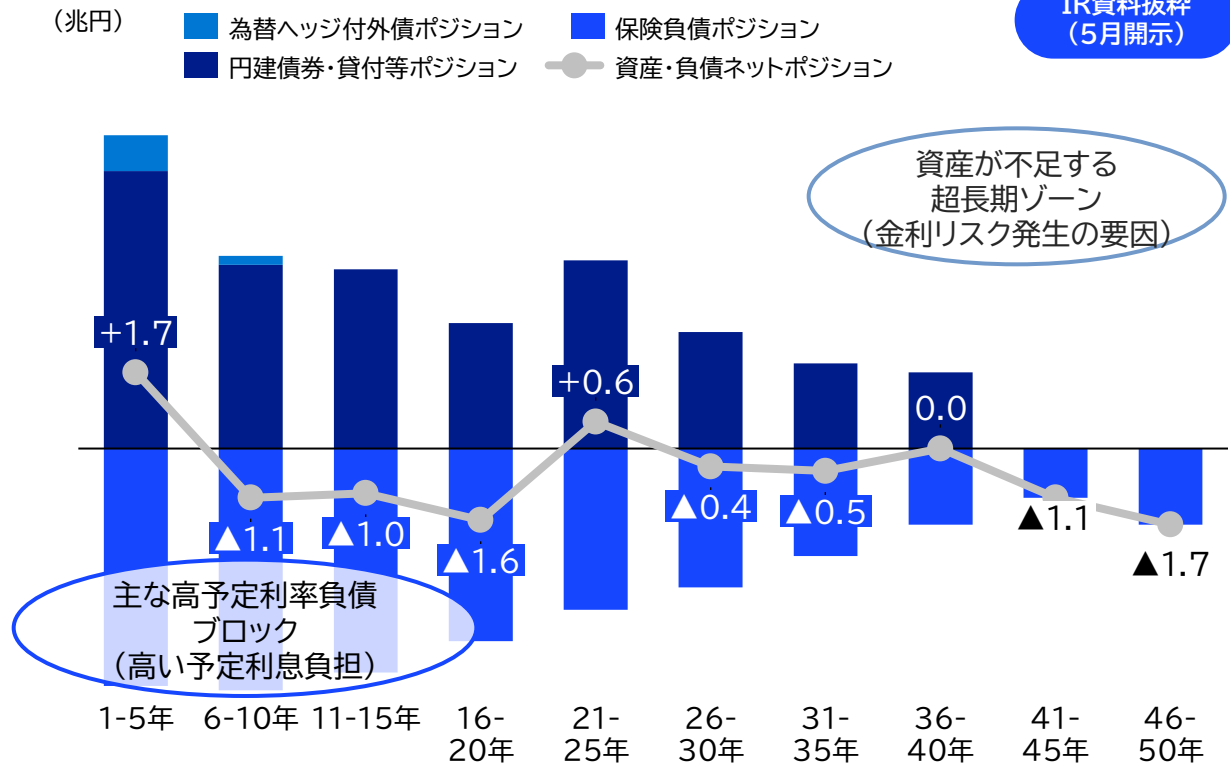
(3) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)。26/6末において純投資目的以外の目的で保有する株式(みなし保有株式は除く)の簿価残高は452億円

貯蓄性商品の解約リスク

貯蓄性商品における解約率⁽¹⁾の変遷⁽²⁾



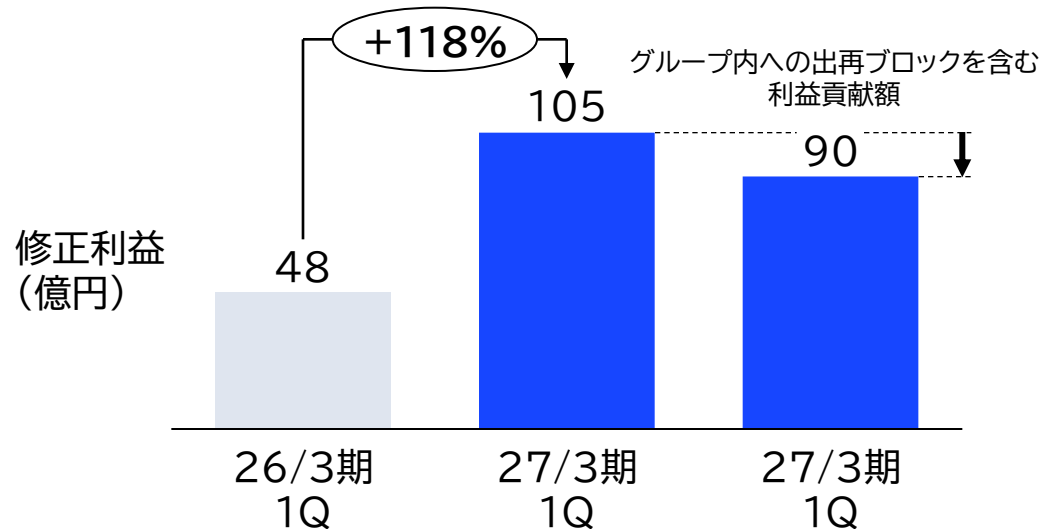
第一生命の資産・保険負債のキャッシュフロー構造(5年ごと累計・概算値)



[グループ各社の業績概要]国内生命保険事業 – 第一フロンティア生命



- ▶ 当期純利益は、保有契約の拡大等により順ざや・保険関係損益等が伸展したことで基礎利益が増益となった他、キャピタル益も増加したことで、前年同期比+63%増の217億円となった
- ▶ MVA関連損益を除いた修正利益は、105億円(前年同期比+118%)となり、グループ内出再分を含めた利益貢献額は、米国社債スプレッドのワイドニングによるDLRBの損失影響を含め、90億円(前年同期比+170%)となった

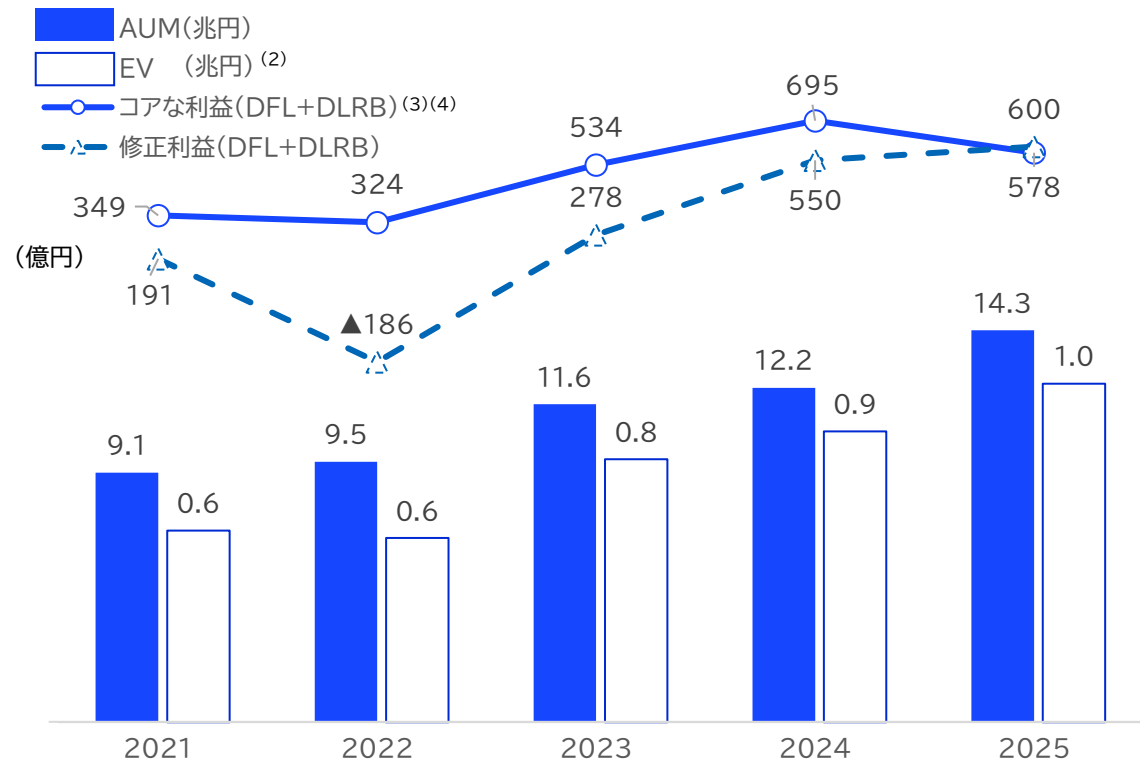


(億円)	26/3期 1Q	27/3期 1Q	前年同期比	(%)
保険料等収入	6,183	6,658	+ 476	+ 8%
基礎利益	168	248	+ 81	+ 48%
順ざや	110	142	+ 32	
保険関係損益等	57	107	+ 49	
キャピタル損益	56	113	+ 57	
MVA関連損益	117	157	+ 39	
その他キャピタル損益(有価証券売却損益等)等	▲ 61	▲ 43	+ 18	
臨時損益	▲ 20	▲ 45	▲ 25	
危険準備金繰入(▲)/戻入額(+)	▲ 20	▲ 45	▲ 25	
その他臨時損益(再保険関連収支等)	▲ 0	-	+ 0	
経常利益(損失)	204	316	+ 113	+ 55%
特別損益	▲ 15	▲ 9	+ 6	
価格変動準備金繰入(▲)/戻入額(+)	▲ 15	▲ 9	+ 6	
法人税等合計	▲ 56	▲ 91	▲ 35	
当期純利益(損失)	133	217	+ 84	+ 63%
MVA関連損益(税前)	▲ 117	▲ 157	▲ 39	
修正利益	48	105	+ 57	+ 118%
グループ内出再に伴う連結調整	5	5	-	
グループ修正利益寄与額	54	111	+ 57	+ 106%
グループ内への出再ブロックを含む利益貢献額	33	90	+ 57	+ 170%

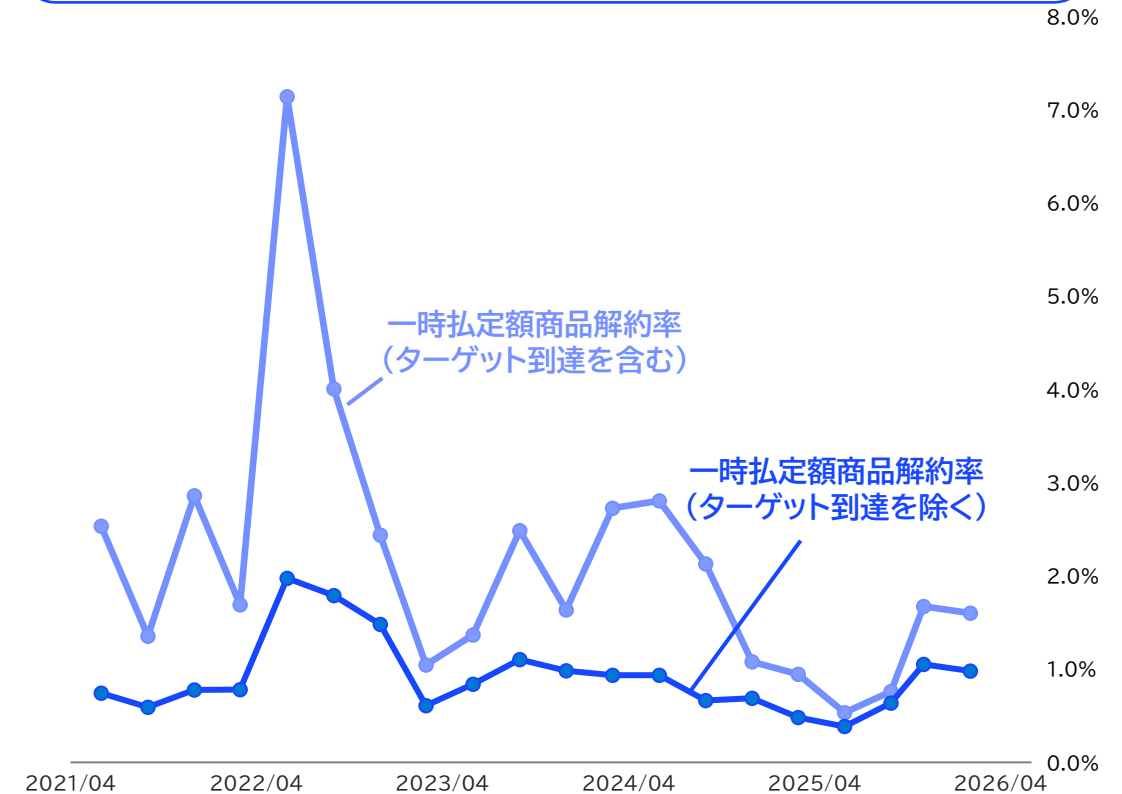
第一フロンティア生命 収益性・解約率

- ▶ DFLはストックビジネスであり、預かり資産残高(AUM)の増加が利益⁽¹⁾増に寄与する収益構造。フルラインアップの商品群とマルチチャネル展開による高い販売競争力によりAUMは大きく成長し、EVも1兆円を超える水準まで増加。出再先であるDLRBの修正利益を含めた⁽¹⁾DFLの保有契約を源泉とする利益は着実に増加
- ▶ お客さまが設定した目標金額に到達後に解約となる契約を除いたDFLの解約率は、安定的に推移

AUMおよび利益水準の推移



解約率の推移⁽⁵⁾



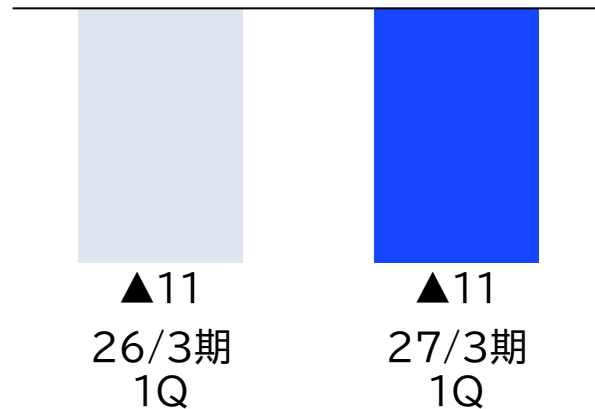
(1) DLRBはDFLの商品を多数引き受けているため、DFLの収益性を評価する際には、DFLとDLRBを一体で捉える。(2) 2023年度以降はJ-ICS規制に基づいた新基準ベース
 (3) 一過性要因・市場変動要因等を除いた、事業の持続的な利益創出力を表す社内利益指標 (4) DLRB利益については、2024年度以降はコアな利益、2023年度以前は修正利益を用いて算出
 (5) 契約高ベース。四半期毎の解約実績を各期央にプロット

[グループ各社の業績概要]国内生命保険事業 – 第一ネオ生命



- ▶ 保険料等収入(再保険収入を除く)は、商品改定後のがん保険の販売が好調を維持したことで保有契約が増加し、前年同期比+3%増の246億円
- ▶ 当期純利益は、販売回復に伴う代理店手数料増加で事業費が増えたこと等により▲11億円(前年同期は▲11億円)

修正利益
(億円)



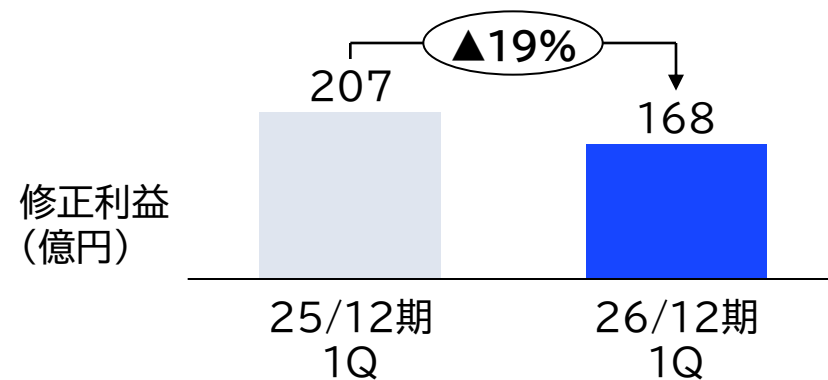
(億円)	26/3期 1Q	27/3期 1Q	前年同期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	239	246	+ 8	+ 3%
保険金等支払金(再保険料を除く)	▲ 153	▲ 163	▲ 11	
保険金・年金・給付金	▲ 49	▲ 46	+ 3	
解約返戻金・その他返戻金	▲ 104	▲ 118	▲ 14	
責任準備金等繰入額	▲ 36	▲ 23	+ 13	
危険準備金繰入(▲)/戻入額(+)	▲ 0	0	+ 1	
事業費	▲ 95	▲ 109	▲ 14	
再保険収支	11	18	+ 7	
資産運用損益・その他経常損益	20	16	▲ 4	
資産運用損益	3	4	+ 1	
その他経常損益	16	12	▲ 4	
経常利益(損失)	▲ 15	▲ 15	▲ 0	-
特別損益	▲ 0	▲ 0	▲ 0	
法人税等合計	4	4	▲ 0	
当期純利益(損失)	▲ 11	▲ 11	▲ 0	-
基礎利益	▲ 14	▲ 16	▲ 1	-
(参考)グループ内出再に伴うグループ修正利益調整額	5	5	▲ 1	

[グループ各社の業績概要]海外保険事業 – 米プロテクティブ



※26/12期2Q(4-6月)決算は、現地時間8/13に公表予定

- ▶ 営業利益は、前年同期に計上したリタイアメント事業における子会社売却益の剥落があったものの、プロテクション事業における一部計算方法の見直し・調整に加え、プロテクションおよび買収事業における良好な死亡率実績等もあり、前年同期比+55%増の203百万米ドル
- ▶ 単体の当期純利益は、営業利益の増加に加え、過年度の既契約ブロック出再に係る組込デリバティブの評価益の増加および市場リスク給付の評価損の減少等により、前年同期比+498%の171百万米ドル
- ▶ 修正利益は、前年同期比24%減の105百万米ドル。なお、前期はLDTI適用前の旧会計基準で計算している(LDTIベースに遡及していない)一方、当期はLDTIベースで計算



(百万米ドル)	25/12期 1Q	26/12期 1Q	前年同期比	(%)
保険料等収入	1,422	1,431	+ 9	+ 1%
税引前営業利益⁽¹⁾	131	203	+ 72	+ 55%
プロテクション	▲ 2	70	+ 72	-
リタイアメント	93	53	▲ 39	▲ 42%
買収	65	94	+ 29	+ 44%
ステーブルバリュー(SV)	15	23	+ 8	+ 57%
アセットプロテクション(AP)	8	7	▲ 1	▲ 15%
エンployee・ベネフィット	▲ 5	▲ 1	+ 4	-
コーポレート等	▲ 42	▲ 43	▲ 1	-
営業外損益(償却調整後)	▲ 103	7	+ 110	
資産運用損益	▲ 18	▲ 18	▲ 0	
債券評価損等	▲ 24	▲ 25	▲ 1	
商業用不動産ローン貸倒引当金増減	▲ 3	▲ 0	+ 2	
修正共同保険式再保険に関する損益	11	88	+ 78	
市場リスク給付変動およびデリバティブ損益	▲ 75	▲ 41	+ 34	
その他	6	3	▲ 3	
法人税等	1	▲ 39	▲ 40	
当期純利益(損失)	29	171	+ 142	+ 498%
修正利益への調整	110	▲ 66	▲ 176	
修正利益⁽³⁾	138	105	▲ 34	▲ 24%
修正利益 ※円換算後: 億円	207	168	▲ 39	▲ 19%
決算為替レート(対円)	149.52	159.88	+ 10.36	+ 7%

(1)純利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標
(2)25/12期4QよりLDTIを適用したことに伴い、25/12期1Qの数値に対してもLDTIを遡及適用
(3)25/12期はLDTIの影響を修正利益から除外。なお、26/12期以降はLDTIの影響を含む

(参考)新会計基準 LDTIの導入

- ▶ Long-Duration Targeted Improvements (LDTI)が米国会計基準で導入され、PLCの25/12期の連結財務諸表はLDTIベースで作成(24/12期の数値も遡及適用して表示)
- ▶ 25/12期の当期純利益は、従来ロックインされていた前提の見直し等により、アンロックングに伴う影響が大きかった。26/12期以降も損益変動は生じ得るものの、PLCの中長期的な成長軌道に変更はない

適用による主な変更点と影響額

変更内容	概要	25/12期 影響額(百万ドル)	26/12期～ 修正利益への影響
A 保険負債の計算方法	保険負債に用いる死亡率等の前提は定期的に見直され、割引率の見直しによる変動を除き、影響は損益に反映。割引率は市場金利を反映して四半期ごとに更新され(シングルA格付の確定利付資産の利回りをベースに算定)、その変動影響は「その他の包括利益(OCI)」で認識	約▲20	有
アンロックング対象	現行基準で契約当初から前提を固定している定期保険等にもアンロックング対象を拡大	約▲160	無
B 市場リスク給付導入 ⁽¹⁾	現行基準で保険負債として計算している最低死亡保障特約部分を公正価値評価に変更	約▲30	無
C DAC等償却パターン	DACを保険料や利益に比例して償却する形式から契約期間に亘って定期償却していく形式に変更	約▲35	有

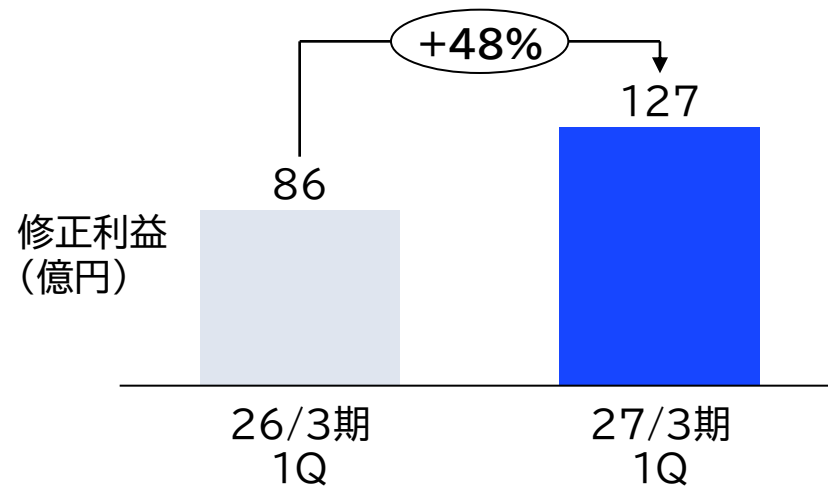
LDTI導入に伴う短期的な利益の下押しは数十百万ドル程度と限定的となる想定

(1)変額年金等の死亡保険金額や引出・給付額の最低保証に係る市場(株式・金利・為替等)リスクから保険契約者を保護する契約または契約の特性のことで、当該部分は公正価値評価

【グループ各社の業績概要】 海外保険事業 – 豪TAL



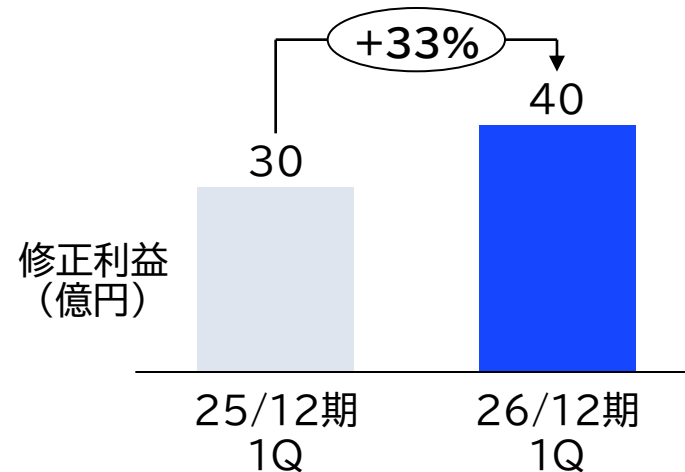
- ▶ 基礎的収益力は、団体保険事業が好調であること等により、前年同期比+34%増の123百万豪ドル
- ▶ 当期純利益は、前年同期における市場要因の剥落の影響はあるものの、前年同期比+14%増の114百万豪ドル



	26/3期 1Q	27/3期 1Q	前年同期比	(%)
(百万豪ドル)				
保険料等収入	1,956	2,105	+ 149	+ 8%
基礎的収益力(税引後)	92	123	+ 31	+ 34%
保障性事業	99	105	+ 6	+ 6%
その他	▲ 7	18	+ 26	-
基礎的収益外損益(税引後)	8	▲ 9	▲ 17	
金利変動等に伴う資産・保険負債の変動	9	▲ 0	▲ 9	
借入コスト	—	▲ 2	▲ 2	
その他	▲ 1	▲ 7	▲ 6	
当期純利益(損失)	100	114	+ 14	+ 14%
修正利益への調整	▲ 9	0	+ 9	
修正利益	91	114	+ 23	+ 25%
修正利益 ※円換算後: 億円	86	127	+ 41	+ 48%
決算為替レート(対円)	94.50	111.56	+ 17.06	+ 18%

[グループ各社の業績概要] 海外保険事業 – 第一ライフ・ベトナム

- ▶ 新契約の販売減少等により保険料等収入は前年同期比▲8%の3,916十億越ドン
- ▶ 当期純利益は、新契約費を含む費用の抑制・削減による事業費等の減少等により前年同期比+28%の663十億越ドン



(十億越ドン)	25/12期 1Q	26/12期 1Q	前年同期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	4,277	3,916	▲ 361	▲ 8%
初年度保険料	634	514	▲ 121	▲ 19%
継続保険料 ⁽¹⁾	3,643	3,402	▲ 240	▲ 7%
その他収益	675	839	+ 164	
資産運用収益等	788	945	+ 158	
再保険収支	▲ 113	▲ 107	+ 7	
事業費等	▲ 1,408	▲ 1,125	+ 283	
初年度販売手数料・経費等	▲ 864	▲ 603	+ 260	
継続手数料・事務管理費	▲ 545	▲ 522	+ 23	
保険金・解約返戻金等	▲ 1,183	▲ 1,298	▲ 115	
責任準備金繰入額等	▲ 1,715	▲ 1,472	+ 243	
責任準備金繰入額(再評価等考慮前)	▲ 1,689	▲ 1,447	+ 242	
金利変動に伴う責任準備金再評価等	▲ 26	▲ 25	+ 1	
法人税等	▲ 128	▲ 197	▲ 69	
当期純利益(損失)	516	663	+ 146	+ 28%
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	30	40	+ 10	+ 33%
決算為替レート(対円)	0.0058	0.0061	+ 0.0002	+ 4%
金利変動に伴う責任準備金再評価等を除く純利益(税引後)	534	689	+ 154	+ 29%

[グループ各社の業績概要]非保険事業(アセットマネジメント事業・新規事業)⁽¹⁾

- ▶ アセットマネジメント事業の修正利益は前年同期比+74%増の48億円。各社においてAUMが順調に拡大し増益
- ▶ ベネフィット・ワンの修正利益は、福利厚生等の顧客拡大により+36%増の15億円。会員数も拡大が進み、2026年6月末時点で1,146万人

アセットマネジメント事業 修正利益

(億円)	26/3期 1Q	27/3期 1Q	増減(%)
VTX	1	2	+ 137%
AMO	13	17	+ 30%
DMRE	-	8	-
CP	3	7	+ 114%
Capula	8	12	+ 54%
その他 ⁽²⁾	3	3	▲ 7%
	28	48	+ 74%

[参考] 預り運用資産

(兆円)	26/3末	26/6末	増減(%)
VTX	3.0	3.2	+ 7%
AMO	79.1	88.0	+ 11%
DMRE	2.1	2.1	+ 2%

(億ドル)	25/12末	26/3末	増減(%)
CP	290	297	+ 3%
Capula	342	343	+ 0%

新規事業 修正利益

(億円)	26/3期 1Q	27/3期 1Q	増減(%)
BO	11	15	+ 36%
	11	15	+ 36%

[参考]会員数(万人)

	26/3末	26/6末	増減(%)
BO	1,118	1,146	+ 3%

[参考]BOの無形資産償却額

のれん償却額 (約200億円/年・10年償却)
無形資産償却額(約30億円/年・24年償却)

(1) VTX:バーテックス、AMO:アセットマネジメントOne、DMRE: 第一ライフ丸紅リアルエステート、CP:キャニオン・パートナーズ、BO :ベネフィット・ワン

(2) アセットマネジメントOne(USA)、And Do ホールディングス、ジャパンエクセレントアセットマネジメント、ウェルス・マネジメントを含む

グループEV

グループEV (1)



- ▶ グループEVは、DLが保有する国内株式の上昇等で前期末比+約1,900億円増の約9.85兆円

Daiichi Lifeグループ

(億円)	26/3末	26/6末 (概算値)	増減
Daiichi Lifeグループ	96,584	約98,500	約+1,900
修正純資産相当額	15,212	約13,300	約▲1,900
保有契約価値相当額	81,371	約85,100	約+3,800

[参考] 現地通貨建

(億円)	26/3末	26/6末 (概算値)	増減
DL	64,567	約64,800	約+300
修正純資産相当額	13,278	約10,400	約▲2,900
保有契約価値相当額	51,289	約54,400	約+3,100

(億円)	26/3末	26/6末 (概算値)	増減
DFL	10,352	約9,600	約▲700
修正純資産相当額	2,292	約1,600	約▲700
保有契約価値相当額	8,060	約8,000	約▲0

(億円)	25/12末	26/3末 (概算値)	増減
米PLC	13,323	約11,500	約▲1,900
修正純資産相当額	2,094	約100	約▲2,000
保有契約価値相当額	11,228	約11,300	約+100

(億円)	26/3末	26/6末 (概算値)	増減
豪TAL	7,867	約8,000	約+200
修正純資産相当額	1,594	約1,500	約▲100
保有契約価値相当額	6,273	約6,600	約+300

	25/12末	26/3末 (概算値)	増減
	8,510	約7,200	約▲1,300
	1,338	約100	約▲1,300
	7,172	約7,100	約▲100

	26/3末	26/6末 (概算値)	増減
	7,173	約7,200	約+0
	1,454	約1,300	約▲100
	5,719	約5,900	約+200

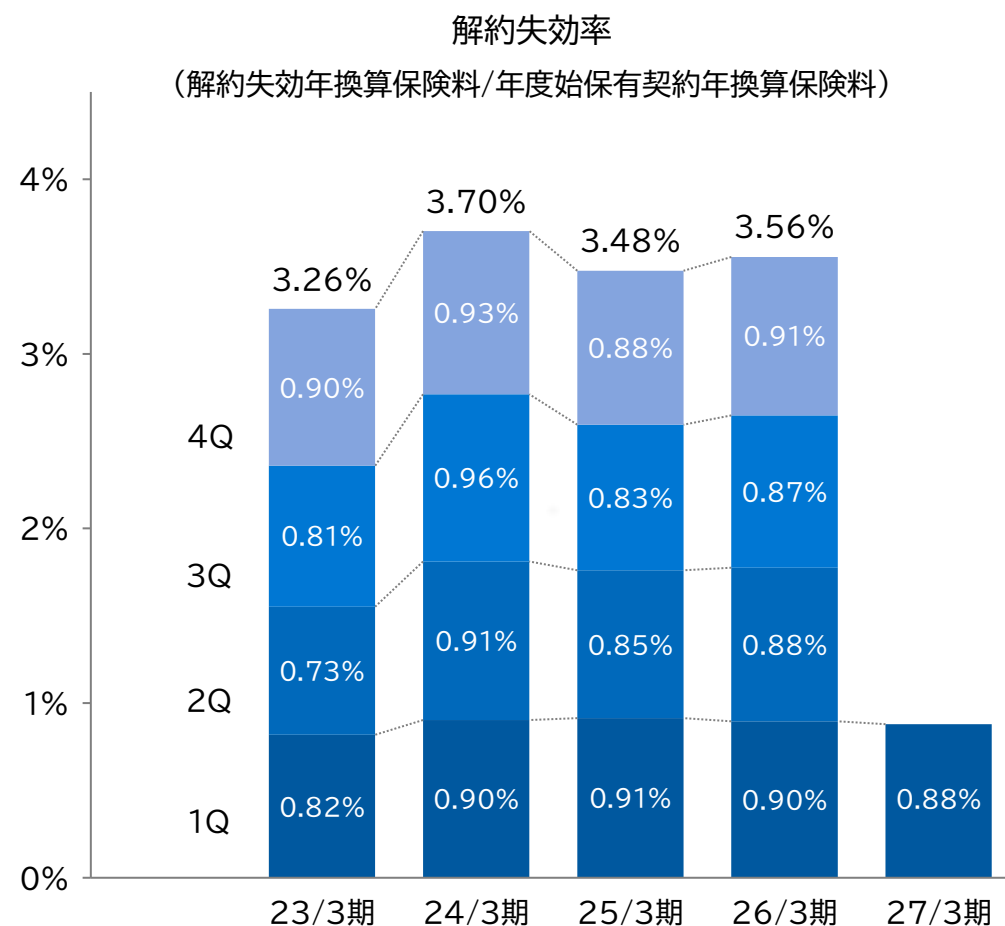
(米PLC: 百万米ドル 豪TAL: 百万豪ドル)

参考データ

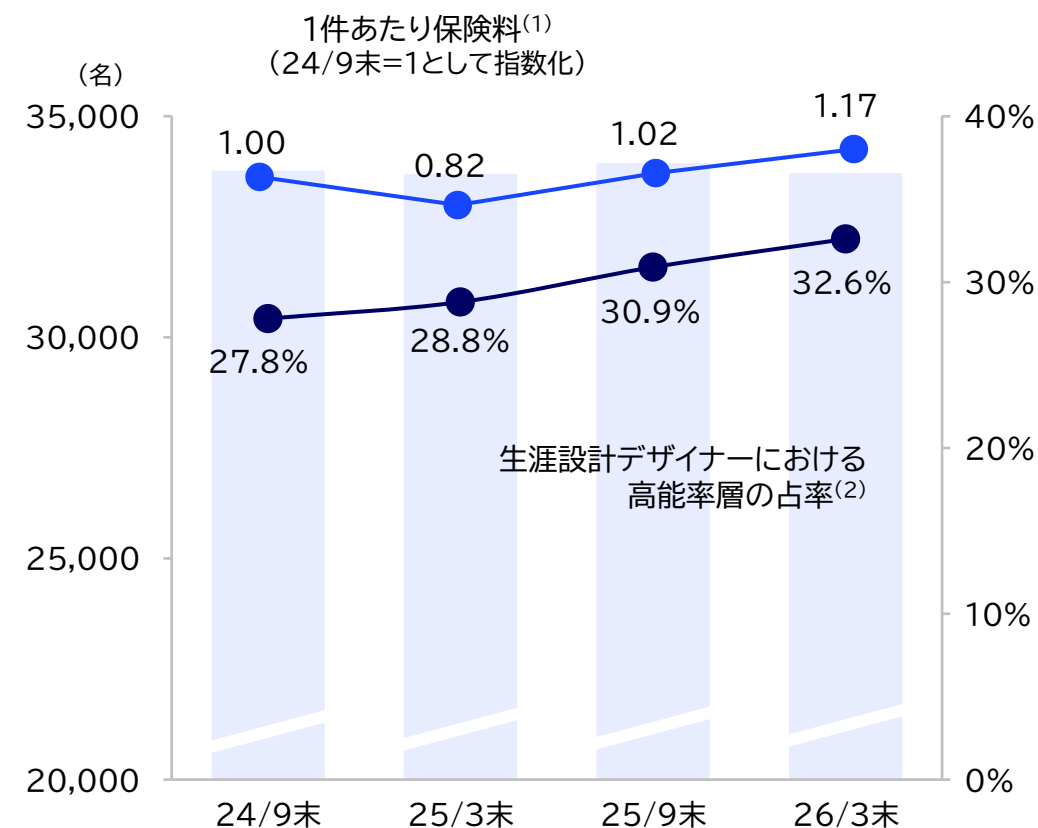
[第一生命] 営業関連指標 – 解約失効・営業職数および生産性



解約失効(個人保険・個人年金 年換算保険料ベース)



生涯設計デザイナーの営業生産性と高能率層の占有率



[参考]生涯設計デザイナー数(ライフプロフェッショナル職を含む)

(1) 代理店チャネル除く
(2) 所定の資格水準を満たす、お客さまに対するコンサルティング能力の高い生涯設計デザイナーの割合

[第一生命] 資産運用の状況① – 資産運用収益・費用の内訳

利息・配当金等収入⁽¹⁾の内訳

(億円)	26/3期 1Q	27/3期 1Q	前年同期比	(%)
利息・配当金等収入	1,779	1,976	+ 197	+ 11%
公社債	745	821	+ 75	+ 10%
株式	71	73	+ 2	+ 3%
外国債券	202	256	+ 54	+ 27%
外国株式	268	258	▲ 10	▲ 4%
その他の証券	105	184	+ 79	+ 75%
貸付金	187	184	▲ 3	▲ 2%
不動産 ⁽³⁾	172	172	▲ 0	▲ 0%

[参考] 26/3期 有価証券運用利回り

(億円)	利息・配当金等収入	日々平均残高	利回り ⁽²⁾
一般勘定計	8,117	314,302	2.58%
公社債	3,092	181,297	1.71%
株式	794	10,110	7.86%
外国債券	923	29,614	3.12%
外国株式	1,103	13,828	7.97%
その他の証券	678	13,730	4.94%
貸付金	741	33,176	2.23%
不動産 ⁽³⁾	688	9,422	7.30%

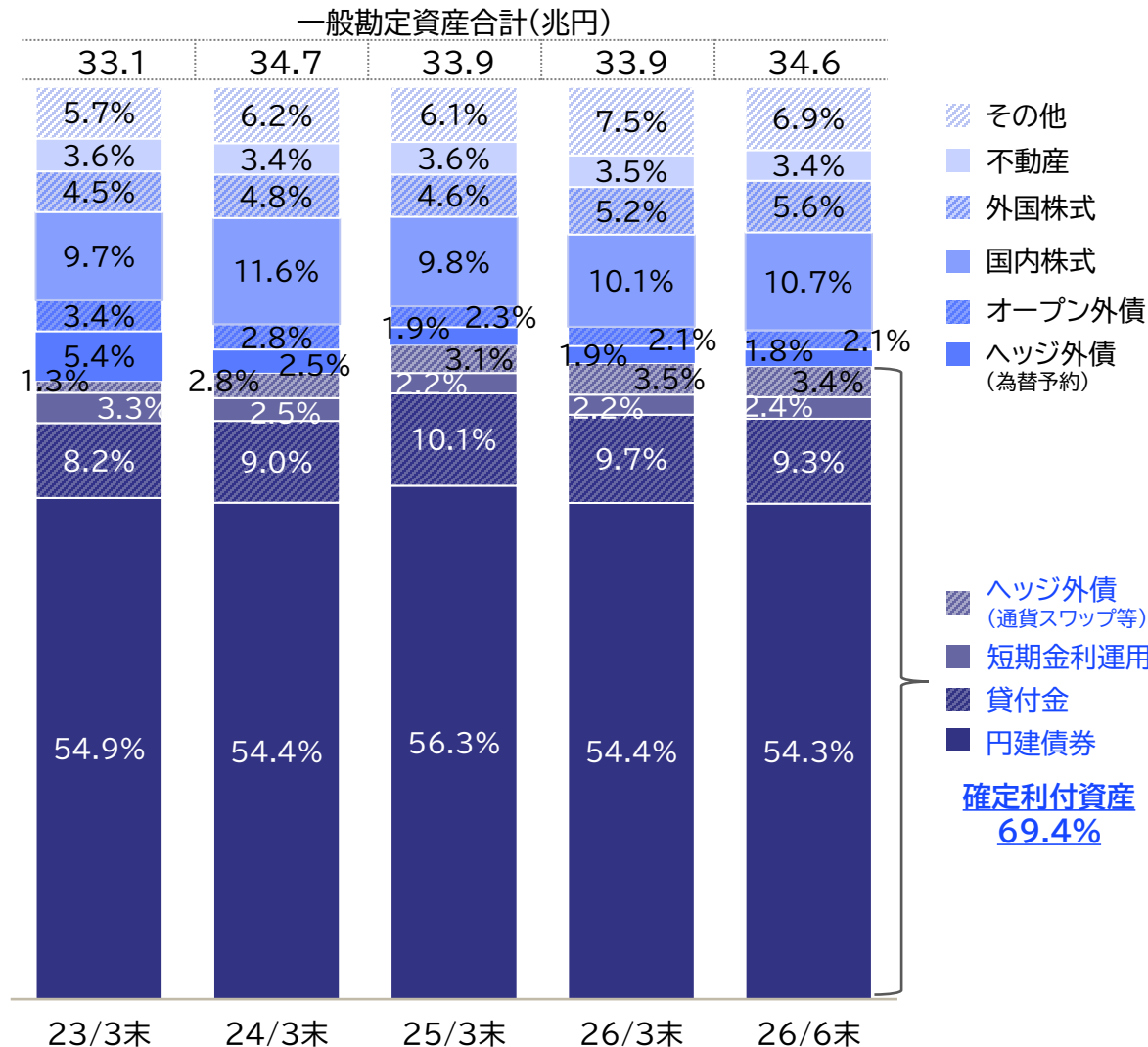
有価証券売却損益・有価証券評価損の内訳

(億円)	26/3期 1Q	27/3期 1Q	前年同期比	(%)
有価証券売却益	1,056	3,465	+ 2,409	+ 228%
公社債	64	1	▲ 63	▲ 99%
株式	703	3,213	+ 2,510	+ 357%
外国債券	83	49	▲ 34	▲ 41%
外国株式	207	173	▲ 34	▲ 17%
その他	0	30	+ 30	+ 34,588%
有価証券売却損	731	2,178	+ 1,447	+ 198%
公社債	492	2,037	+ 1,545	+ 314%
株式	73	48	▲ 24	▲ 34%
外国債券	116	7	▲ 109	▲ 94%
外国株式	43	19	▲ 24	▲ 55%
その他	7	66	+ 59	+ 837%
有価証券売却損益	325	1,286	+ 961	+ 296%
有価証券評価損	3	7	+ 4	+ 157%
公社債	-	-	-	-
株式	2	2	▲ 1	▲ 31%
外国債券	-	-	-	-
外国株式	0	6	+ 5	+ 1,038%
その他	-	-	-	-

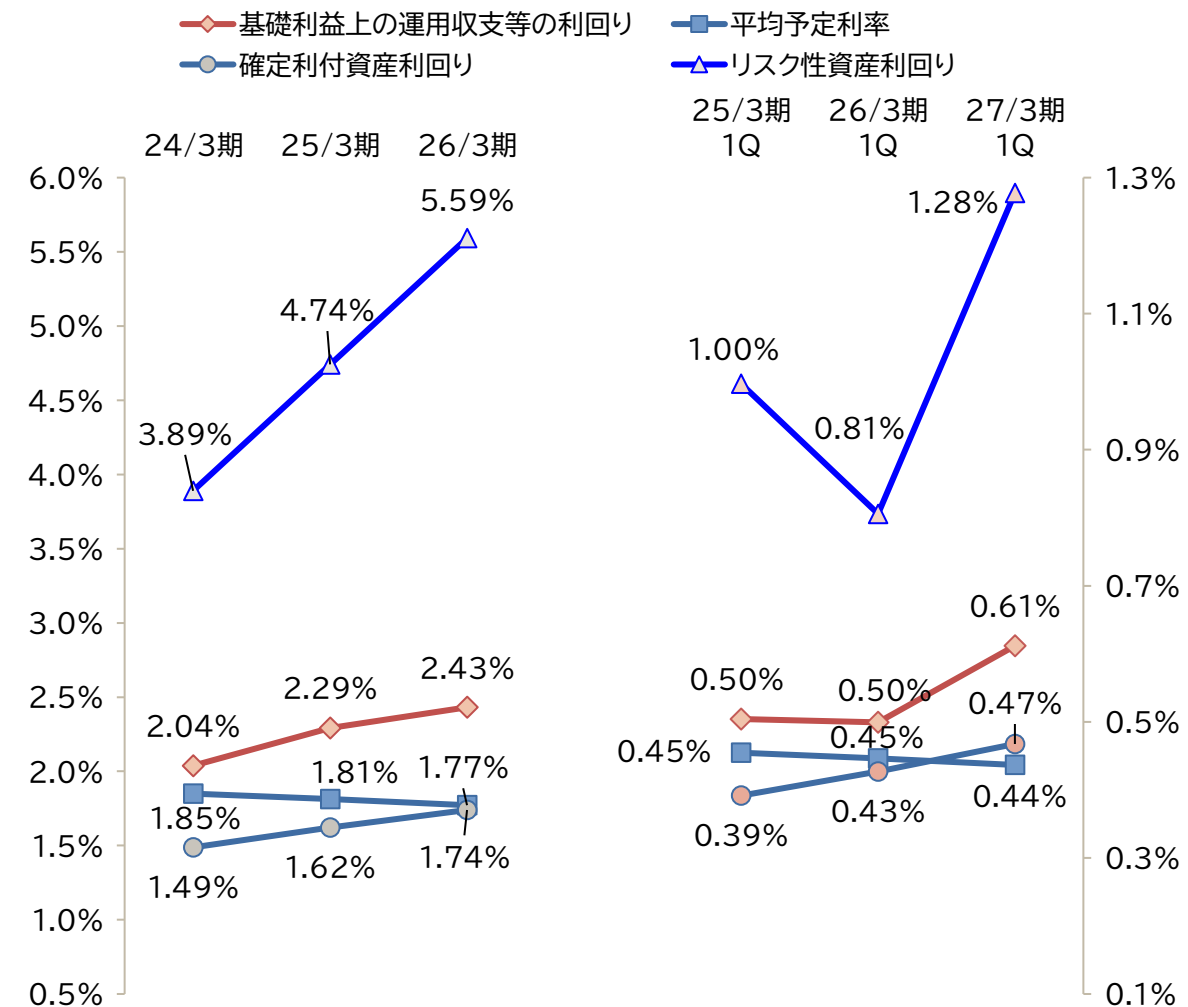
[第一生命] 資産運用の状況② – 運用資産構成・資産運用利回りと平均予定利率



運用資産の構成(一般勘定)⁽¹⁾⁽²⁾



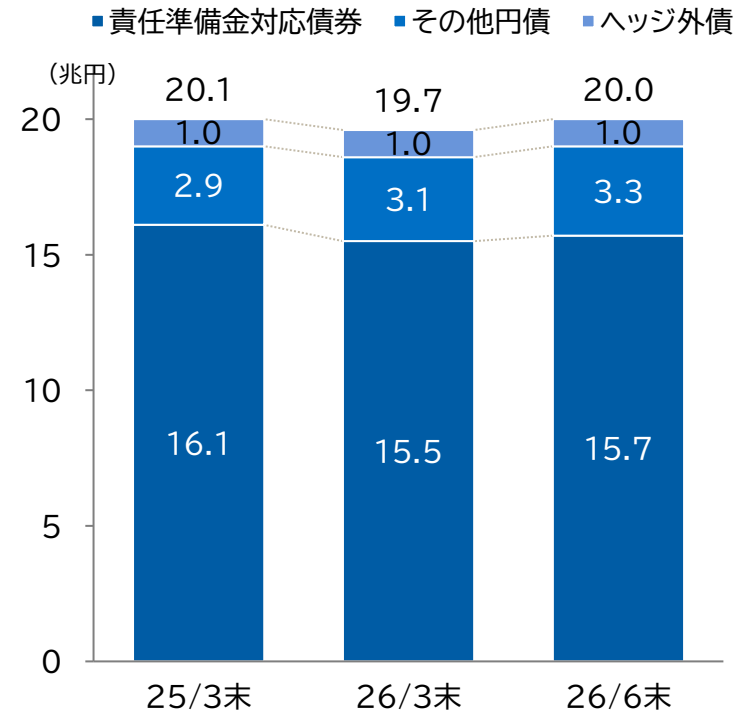
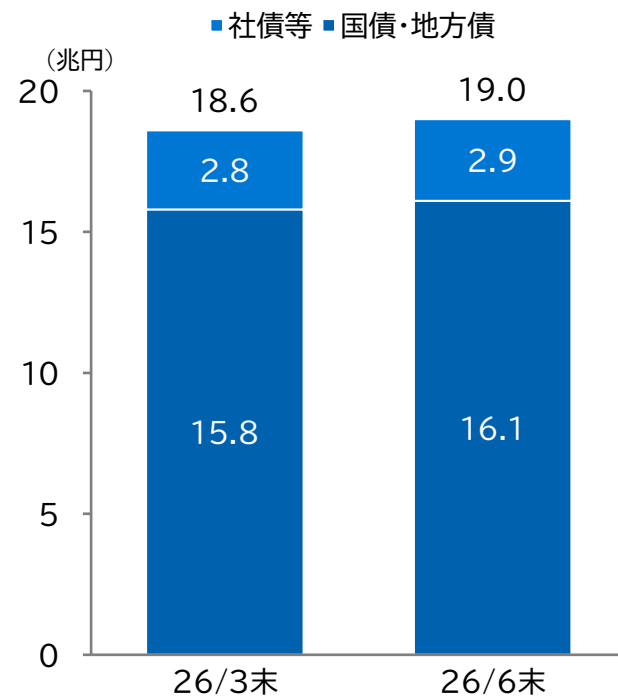
資産運用利回りと平均予定利率⁽³⁾



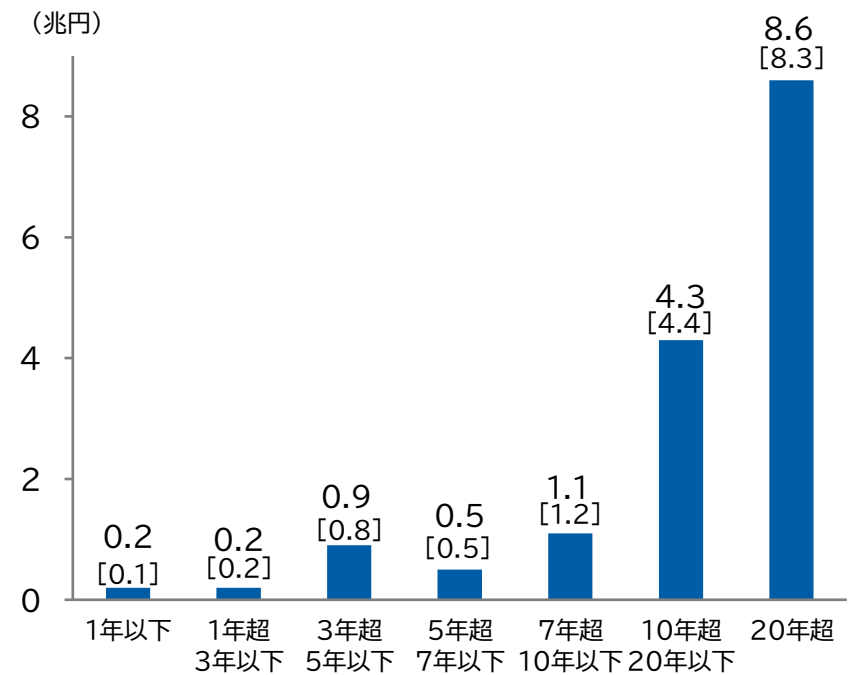
(1) 貸借対照表価額ベース (2) ヘッジ外債(為替予約)のうち変動金利債券についてはヘッジ外債(通貨スワップ等)に分類

(3) 各資産の利回りについては、資産毎の利息配当金収入(資本性配当金を除く)からヘッジコスト等を除いた金額を各資産の期間平均残高で除して算出

[第一生命] 資産運用の状況③ – 確定利付資産の状況

円建債券の内訳⁽¹⁾確定利付資産の内訳⁽¹⁾⁽²⁾国債の残存期間別残高⁽³⁾ (26/6末)

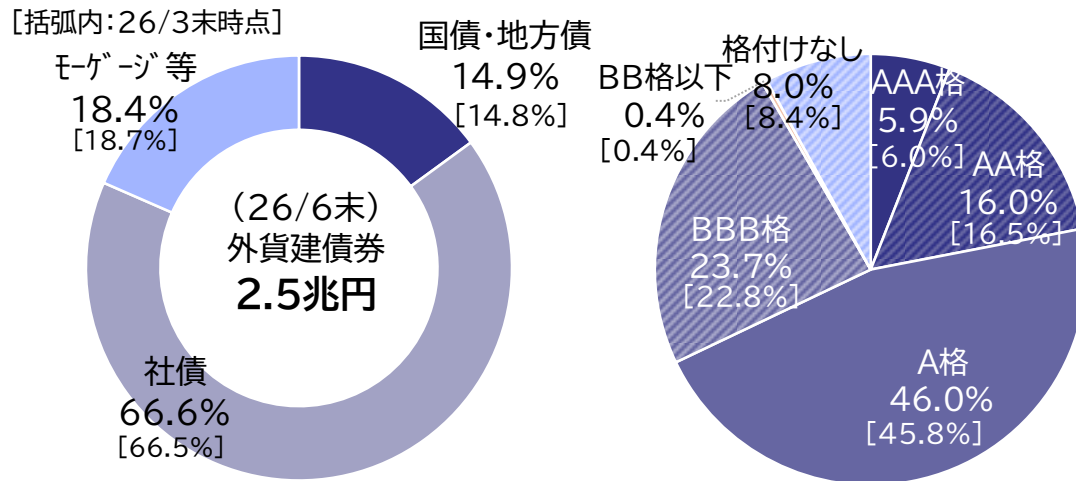
[括弧内: 26/3末時点]



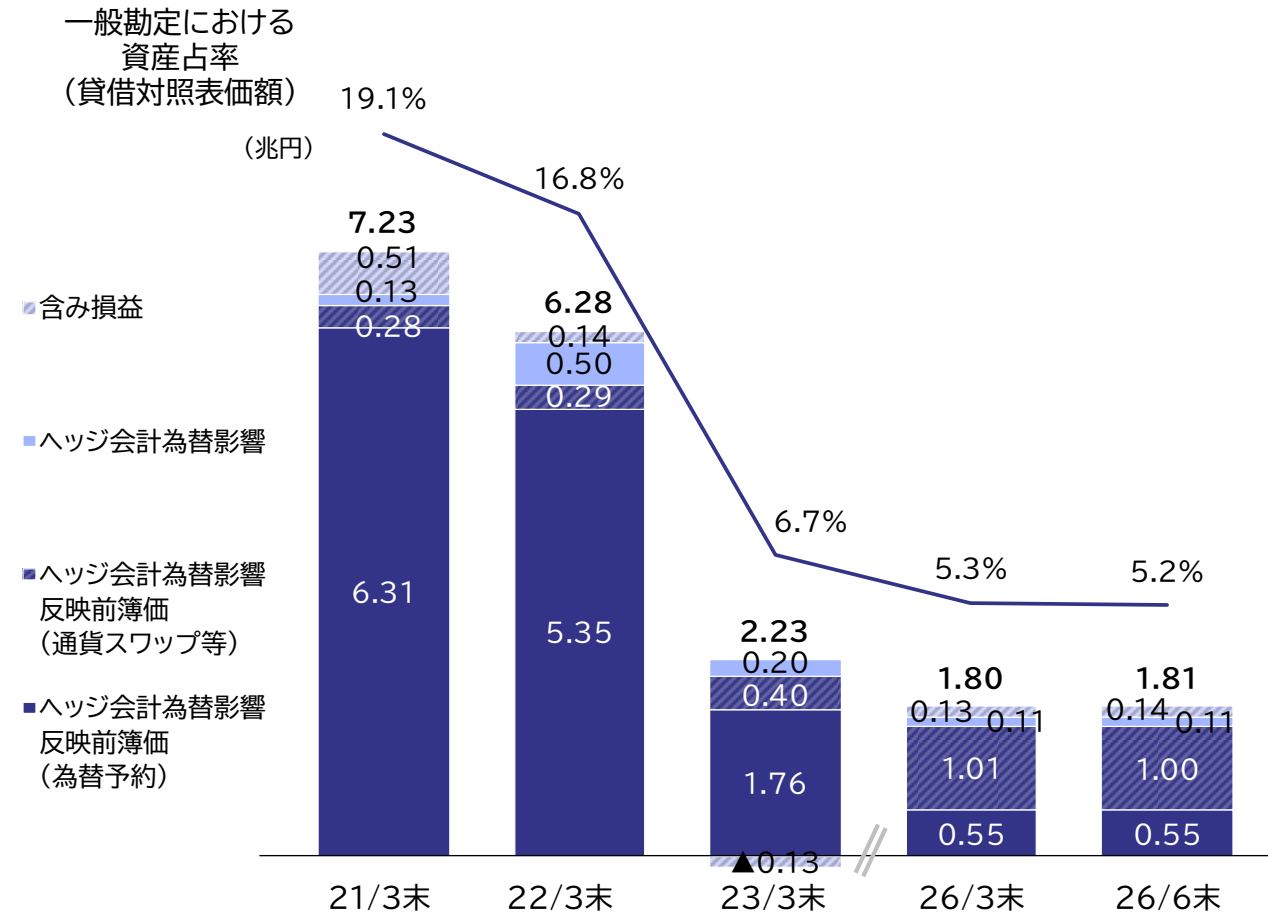
[第一生命] 資産運用の状況④ – 外貨建債券の状況



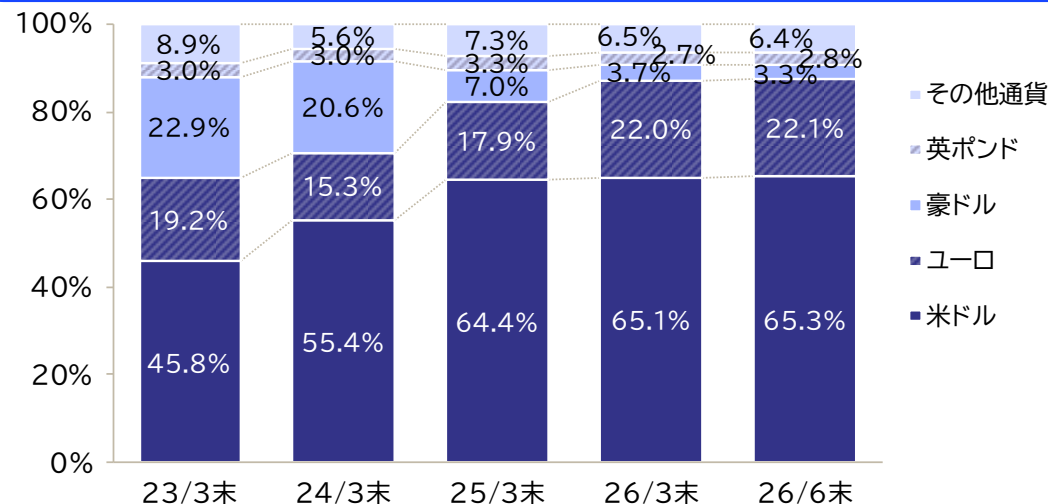
外貨建債券の内訳⁽¹⁾⁽²⁾ (26/6末)



為替ヘッジ付外債残高詳細⁽¹⁾⁽³⁾



外貨建債券の通貨別構成⁽¹⁾

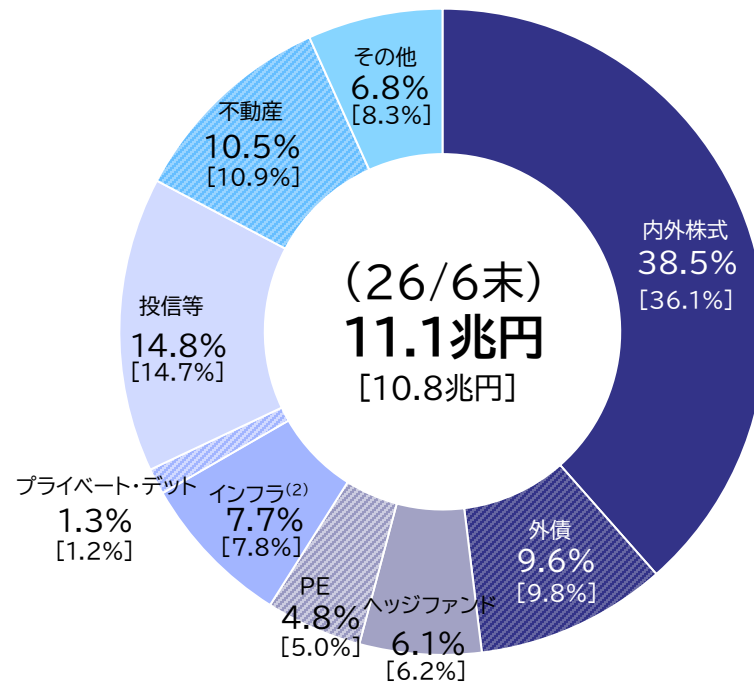


(1) 貸借対照表価額ベース (2) 格付けはS&P・Moody'sの2社の格付け機関による格付けの中間の評価を採用、モーゲージ等を除く (3) ヘッジ外債(為替予約)のうち変動金利債券についてはヘッジ外債(通貨スワップ等)に分類

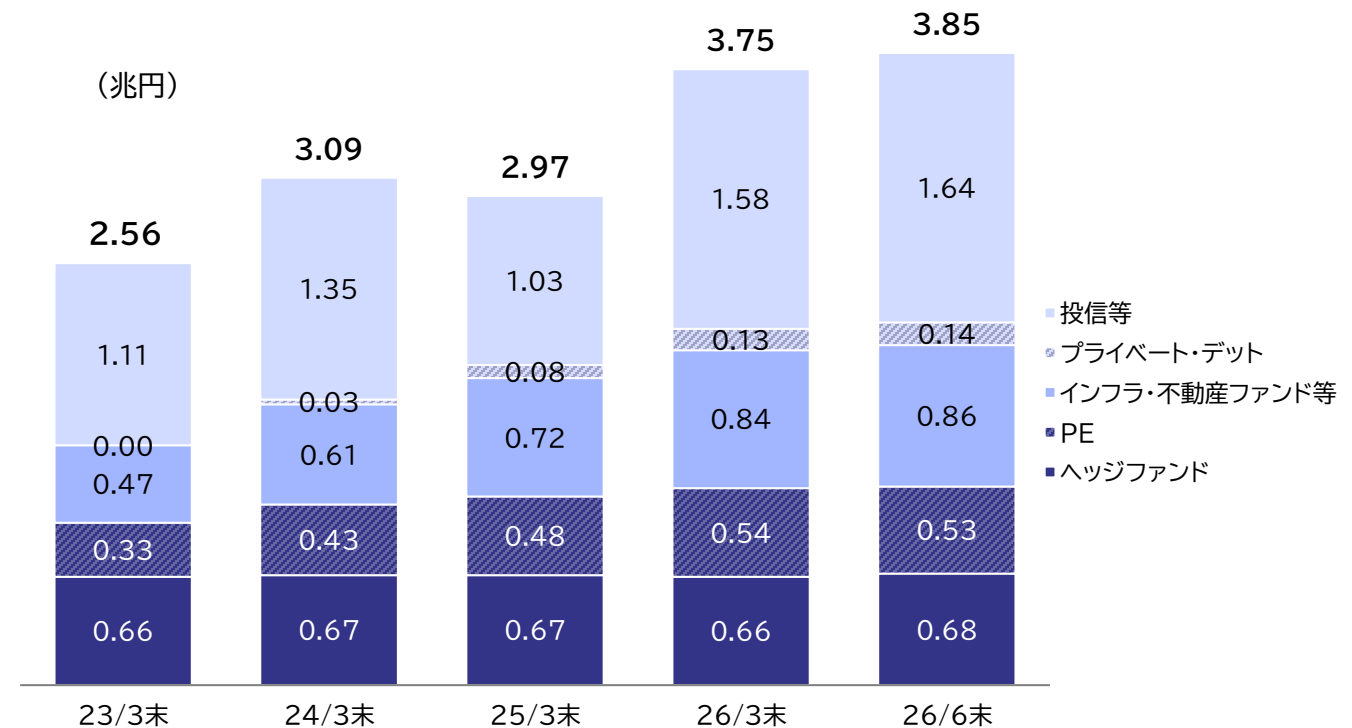
[第一生命] 資産運用の状況⑤ – リスク性資産の状況

リスク性資産等の内訳⁽¹⁾

[括弧内: 26/3末時点]



オルタナティブ資産の積増し状況⁽¹⁾



- 投信等
- プライベート・デット
- インフラ・不動産ファンド等
- PE
- ヘッジファンド

プライベートクレジット⁽¹⁾

- ▶ プライベートクレジットは、ダイレクトレンディングおよびPrivate ABS／ABFを中心とし、引き続きグループ運用資産に占める構成比は0.8%と限定的
- ▶ プライベートクレジット投資においては、各社毎に投資スタンスに基づいた規律ある運用を行っており、流動性や組成形態、裏付資産等の特性を踏まえ、投資対象の分類・把握およびモニタリング等を通じた運用管理を実施、現時点で懸念は認識していない

プライベートクレジット残高(2026年3月末)

	運用資産額 (兆円)	ダイレクトレンディング (億円)	Private ABS/ABF ⁽²⁾ (億円)	運用資産に占める プライベートクレジット の構成比 (%)
グループ	60.6	3,000	1,900	0.8%
DL	33.9	1,200	-	0.4%
DFL	10.0	650	250	0.9%
PLC	13.5	950	1,650	1.9%
DLRB	3.2	200	-	0.6%

グループ各社の投資スタンス



- ・ダイレクトレンディングが中心
- ・優良なマネージャーの選定のもと、レバレッジを用いない分散されたポートフォリオ構成
- ・ルックスルーデータを活用し精緻な信用リスク管理を実施予定



- ・SMA⁽²⁾やRSN⁽²⁾等が中心
- ・IGが大宗を占め、ストラクチャー(証券化・トランシェ等)を通じて格付が付与された投資が多いポートフォリオ

(1) 本スライドでは、市場で主に議論されているプライベートクレジットの中核であるダイレクトレンディング(主に非公開企業向け直接融資)やPrivate ABS/ABFについて記載しています。

(2) ABS(Asset-Backed Securities)・ABF(Asset-Backed Financing)・RSN(Rated Structured Note)・SMA(Separately Managed Account)

[第一生命]資産運用の状況⑥ 含み損益



含み損益(一般勘定)の状況

(億円)	26/3末	26/6末	前期末比	(%)
有価証券	▲ 6,785	▲ 5,052	+ 1,734	-
国内債券	▲ 38,023	▲ 40,406	▲ 2,383	-
うち責任準備金対応債券	▲ 37,106	▲ 39,338	▲ 2,231	-
うちその他保有目的債券	▲ 917	▲ 1,068	▲ 152	-
外国債券	1,482	1,579	+ 97	+ 7%
うち為替ヘッジ付外貨建債券	1,271	1,430	+ 159	+ 12%
国内株式	24,914	27,683	+ 2,769	+ 11%
外国株式	3,618	4,513	+ 895	+ 25%
不動産	6,553	6,622	+ 68	+ 1%
一般勘定資産合計	▲ 2,220	▲ 209	+ 2,010	-

2026年
6月末時点

含み損益の市場感応度⁽¹⁾

含み損益ゼロ水準⁽²⁾

国内
債券

10年国債利回り10bpの変動で
1,800億円の増減※
(2026年3月末:1,900億円)
※その他有価証券区分:100億円の増減
(2026年3月末:100億円)

10年国債利回り 0.5%※
(2026年3月末:0.4%)
※その他有価証券区分:1.7%
(2026年3月末:1.6%)

国内
株式

日経平均株価1,000円の変動で
500億円の増減
(2026年3月末:600億円)

日経平均株価 ¥17,100
(2026年3月末:¥13,300)

外国
証券

ドル／円1円の変動で
140億円の増減
(2026年3月末:130億円)

ドル／円 \$1 = ¥137
(2026年3月末:¥134)

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準であり、外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

[第一フロンティア生命] 資産運用の状況 – 運用資産構成



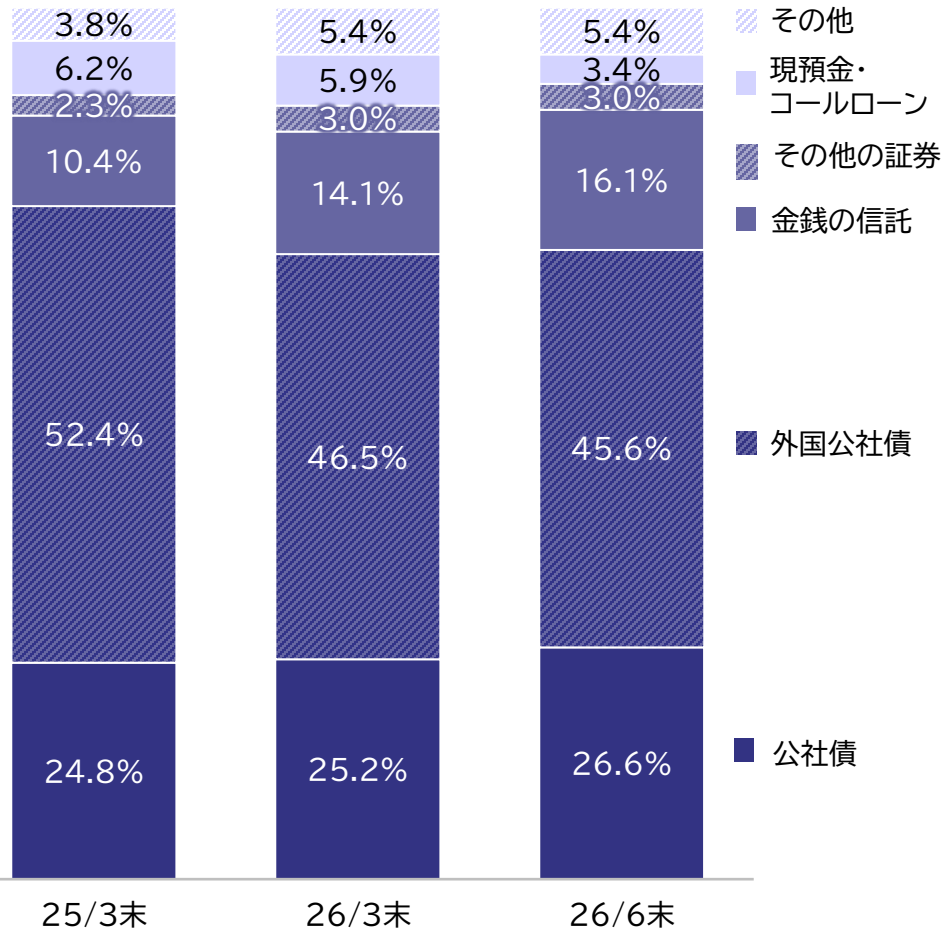
運用資産の構成(一般勘定) (1)

運用資産合計(兆円)

8.6

9.8

10.0

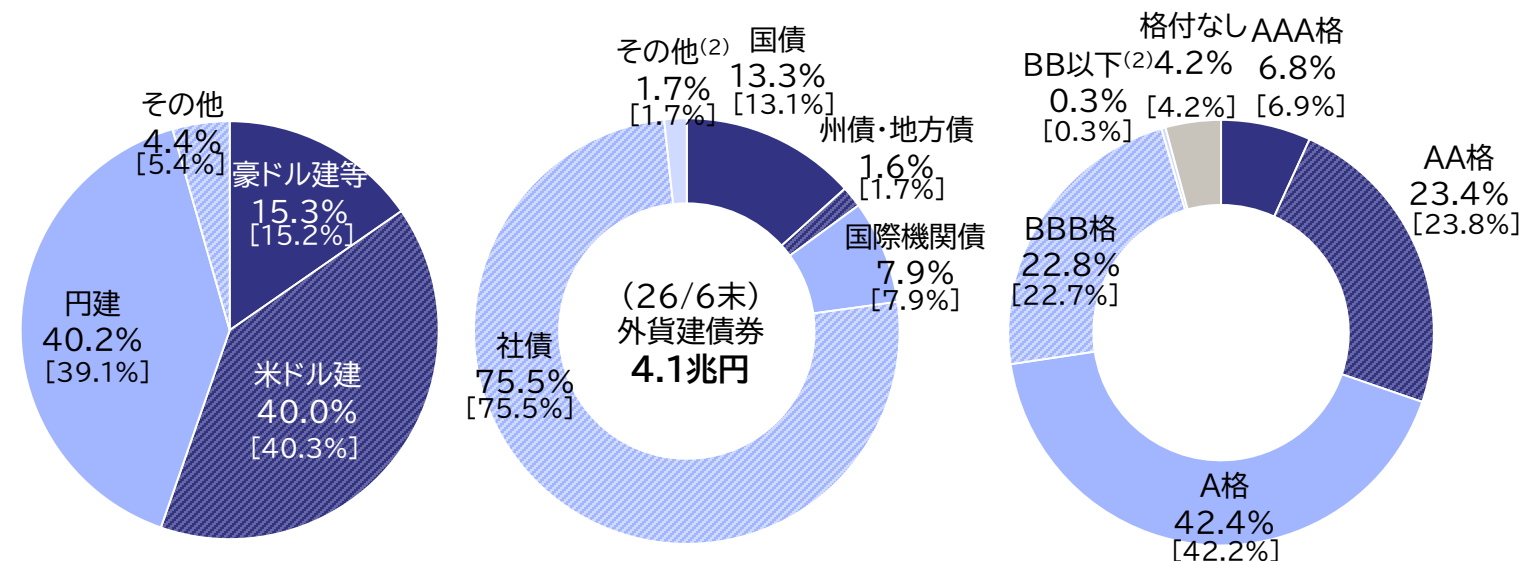


保有目的区分別有価証券の状況 (26/6末)

(億円)	簿価	時価	含み損益
責任準備金対応債券	51,120	46,969	▲ 4,151
その他有価証券	33,908	33,214	▲ 694
公社債	4,879	4,608	▲ 271
外国証券	18,300	17,905	▲ 395
その他の証券	3,020	2,994	▲ 26

運用区分別資産残高(一般勘定)と外貨建債券の内訳

[括弧内:26/3末時点]



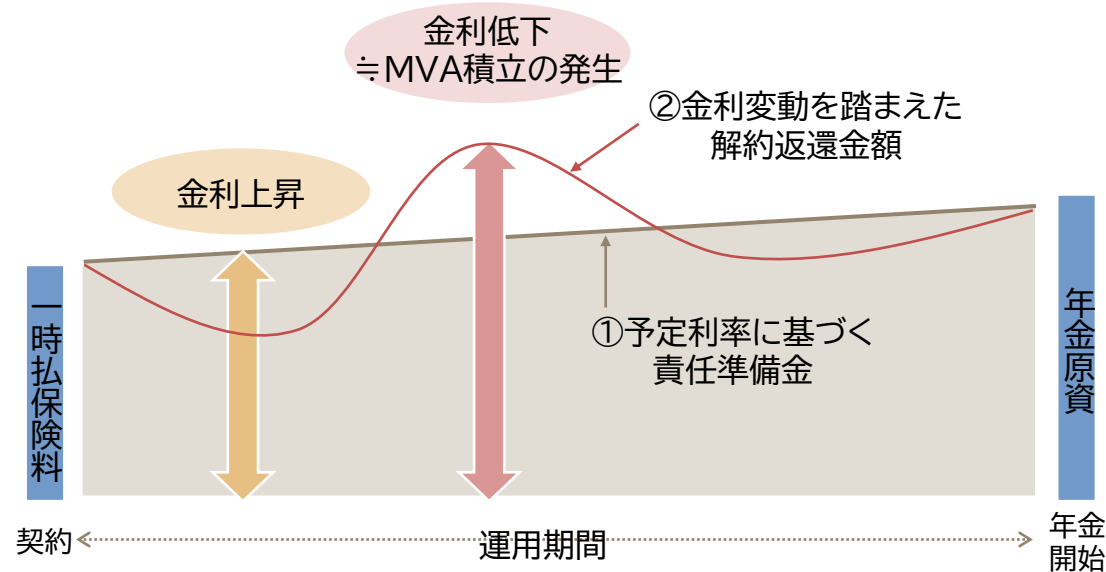
(1) 貸借対照表価額ベース

(2) 国債・社債を裏付けとする仕組み債を含む

[参考] MVA(市場価格調整)関連損益について

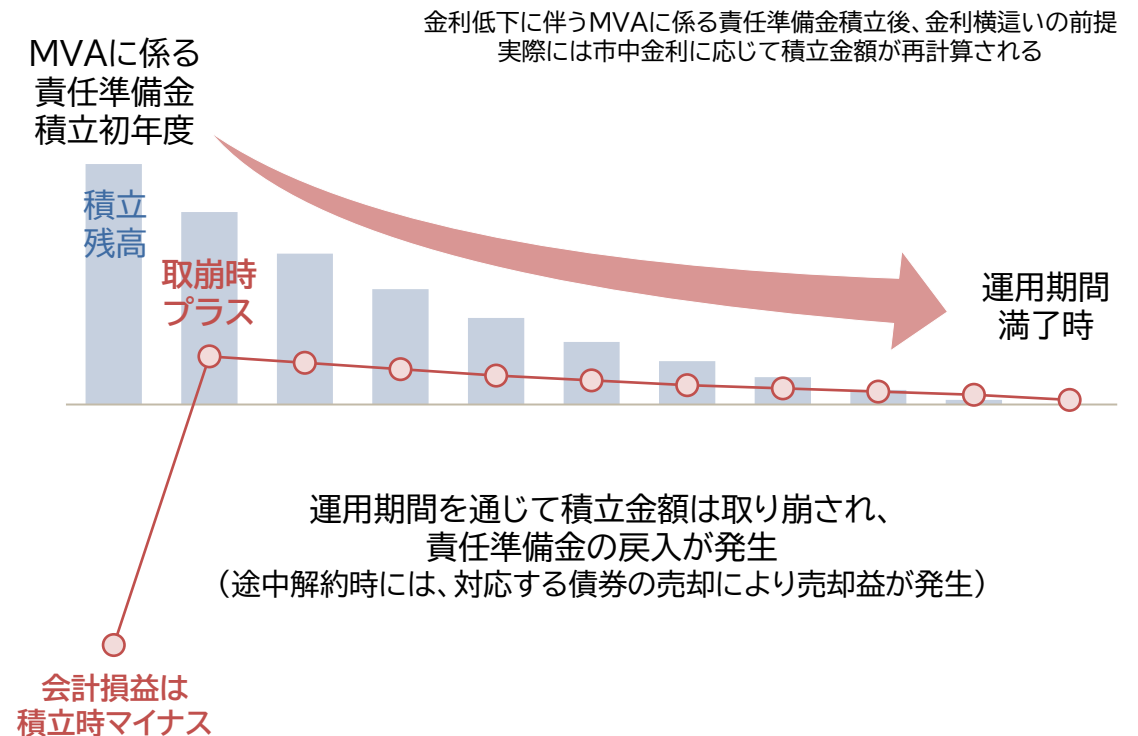
- ▶ MVA(市場価格調整)付き商品の負債は、会計上、金利低下により「金利変動を踏まえた解約返還金額」が「予定利率に基づく責任準備金」を上回る場合、差額の責任準備金の積立が発生
- ▶ MVAに係る損益は、期間を通算すれば収支への影響はニュートラルなことから、グループ修正利益には含めない

MVAに係る責任準備金の積立発生(イメージ)



各期末における会計上の負債評価額は、①または②の大きい金額となり、金利低下により②>①となる場合、差額の責任準備金の積立を実施

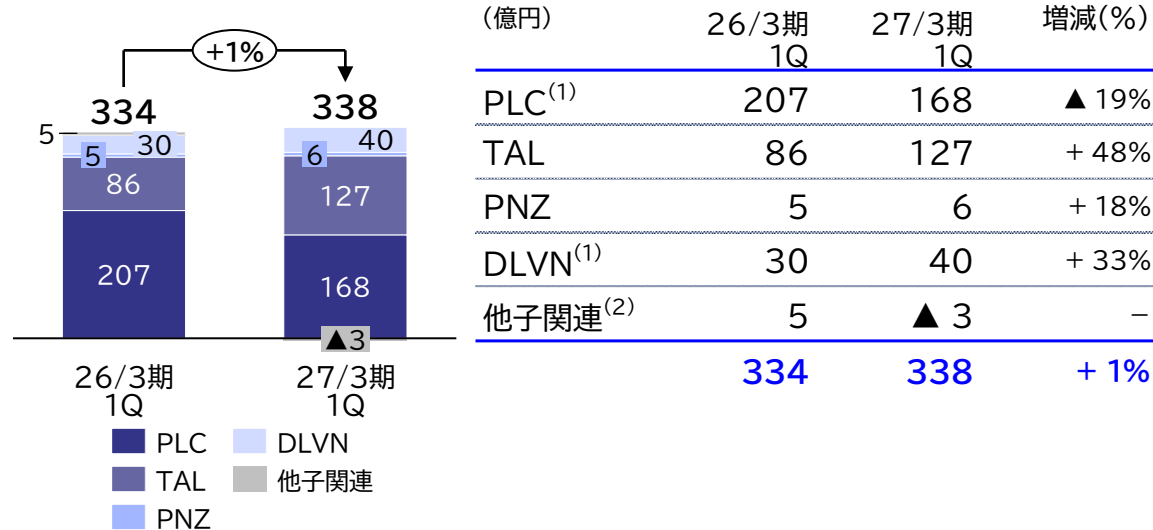
MVAに係る責任準備金残高と会計損益への影響(イメージ)



[海外保険事業] 修正利益、米プロテクティブ・豪TALのセグメント別営業業績等



海外保険事業 修正利益合計



米プロテクティブ 営業業績等

(百万米ドル)	25/12期 1Q	26/12期 1Q	前年同期比	(%)
リテール保険&年金事業	1,293	1,856	+ 563	+ 44%
伝統的保険	57	44	▲ 12	▲ 22%
ユニバーサル保険	24	17	▲ 7	▲ 28%
BOLI/COLI ⁽³⁾	273	146	▲ 128	▲ 47%
定額年金	622	1,298	+ 676	+ 109%
変額年金	317	350	+ 34	+ 11%
アセットプロテクション事業	213	240	+ 27	+ 13%
エンployee・ベネフィット事業	26	31	+ 5	+ 19%
スーブルバリュー残高(年度始)	13,150	13,787	+ 638	+ 5%
調達	1,670	602	▲1,068	
償還	▲1,633	▲1,456	178	
その他	168	111	▲57	
残高(1Q末)	13,354	13,045	▲309	▲ 2%

豪TAL 営業業績

(百万豪ドル)	26/3期 1Q	27/3期 1Q	前年同期比	(%)
新契約年換算保険料	47	73	+ 26	+ 57%
(TAL) 個人保険	23	26	+ 2	+ 9%
団体保険	23	48	+ 24	+ 105%
既契約増減⁽⁴⁾	120	200	+ 80	+ 67%
(TAL) 個人保険	95	101	+ 7	+ 7%
団体保険	25	99	+ 74	+ 296%

(1) PLC・DLVN・DLKH・DLMM・PDLの5社の決算日は12月31日

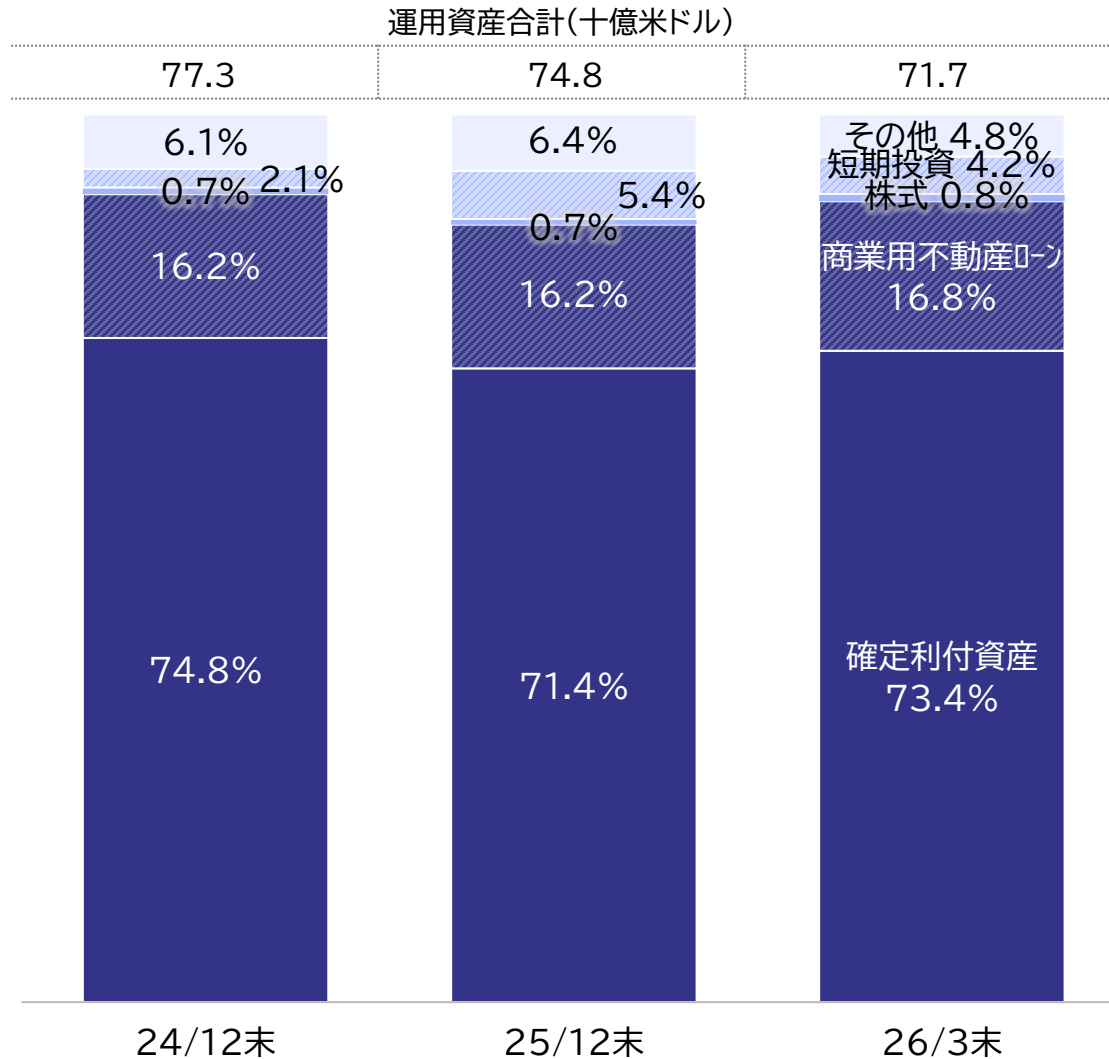
(2) DLKH・DLMM・SUD・PDLの4社の他子関連会社に加えて、26/3期に資本関係を解消したタイOcean Lifeの実績を含む

(3) BOLI(Bank Owned Life Insurance)/COLI(Corporate Owned Life Insurance)と呼ばれる、契約者・受取人を法人、被保険者を役員・従業員とする福利厚生等を目的とした生命保険

(4) 既契約増減は契約更新や料率改定等に伴う既契約の年換算保険料の増減を示す(TLISブロックの統合を含む)

[米プロテクティブ] 資産運用の状況 – 運用資産構成

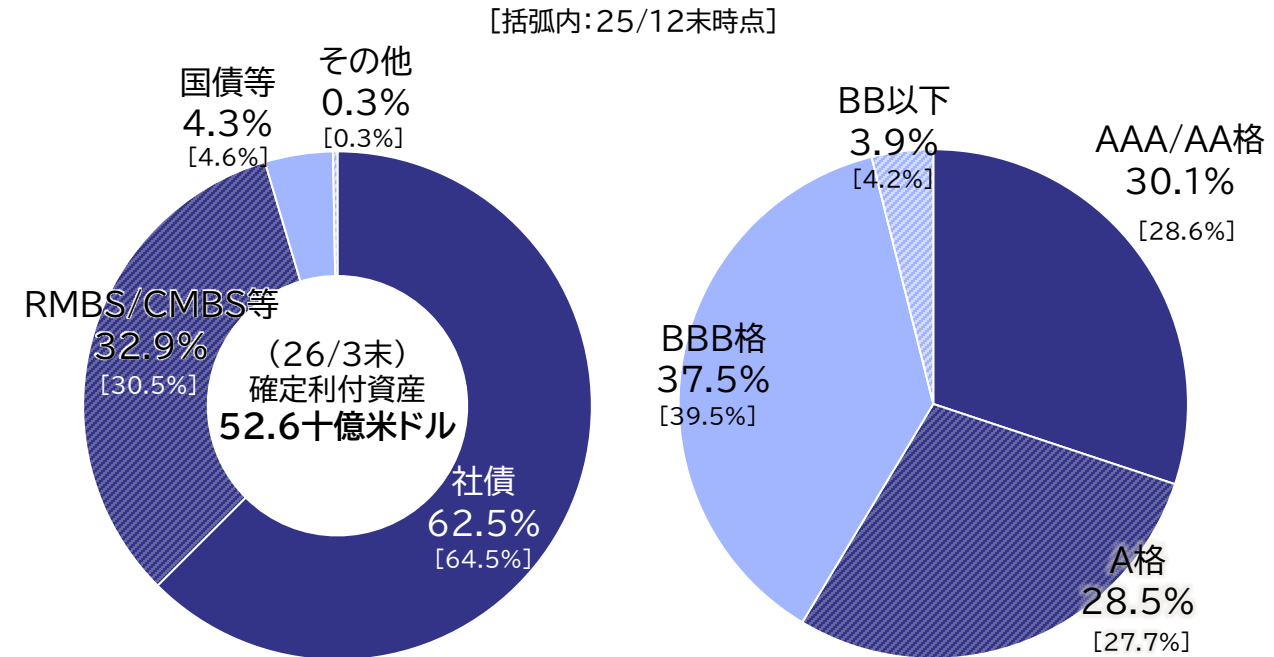
運用資産の構成(一般勘定) (1)(2)



商業用不動産ローンの状況(2)

(百万米ドル)	25/12末	26/3末	増減
商業用不動産ローン(引当前)	12,840	12,920	+ 80
不良債権	31	60	+ 29
貸倒引当金	84	84	▲ 0
(対ローン残高)	0.7%	0.7%	▲ 0.0%pt

確定利付資産の内訳および格付構成 (26/3末)(2)



グループ修正利益の組替え

(億円)	26/3期 1Q	27/3期 1Q	前年同期比	(%)
当期純利益(損失) ⁽¹⁾	342	1,601	+ 1,258	+ 368%
危険準備金繰入額(法定超過分、税後)	-	-	-	
価格変動準備金繰入額(法定超過分、税後)	-	-	-	
MVA(市場価格調整)関連損益(税後)	▲ 85	▲ 111	▲ 27	
のれん等償却額	91	131	+ 40	
経済実態と乖離した評価性損益等(PLC) ⁽²⁾	164	▲ 105	▲ 270	
金利変動等に伴う資産・保険負債の変動等(TAL)	▲ 8	0	+ 8	
金利変動等に伴う資産・保険負債の変動(PNZ)	1	1	+ 0	
資産負債評価に係る調整(DLRB)	250	103	▲ 148	
その他	▲ 15	▲ 38	▲ 23	
グループ修正利益	742	1,581	+ 840	+ 113%

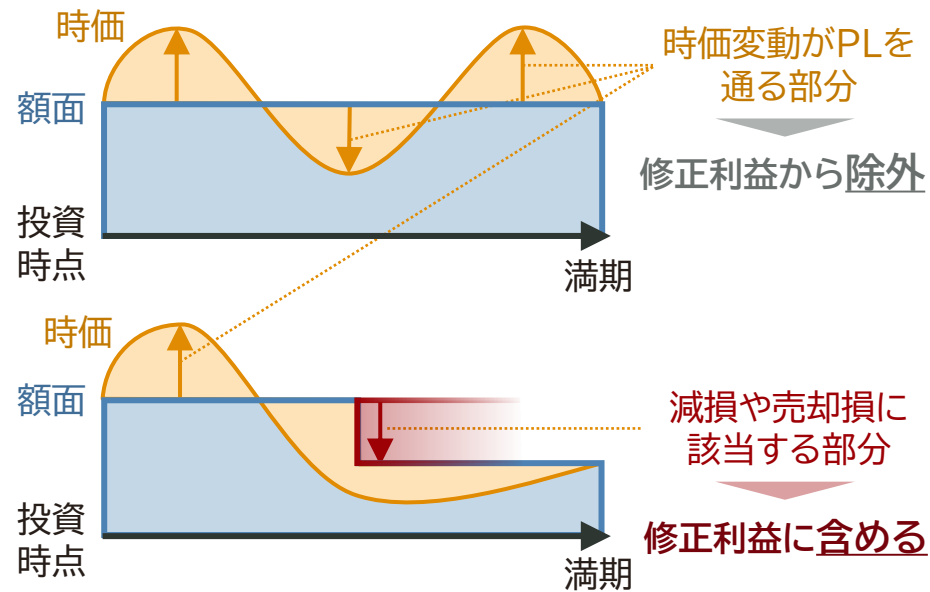
(1)26/3期の実績はLDTIを遡及適用 (2)LDTI影響を反映しない既に開示済の修正利益と、LDTI適用後の当期純利益の差分を含む

[参考] 修正利益の算出方法の一部変更

- ▶ プロテクティブ、TAL、パートナーズ・ライフの修正利益について、2024年度より会計上の評価損益を修正利益から除くことで、修正利益本来の目的に沿うとともに利益の安定性や還元の予見性の向上につながる
- ▶ なお、配当計算のベースとなる3年間の修正利益について、2023年度以前の分の遡及修正は行わない

プロテクティブのケース

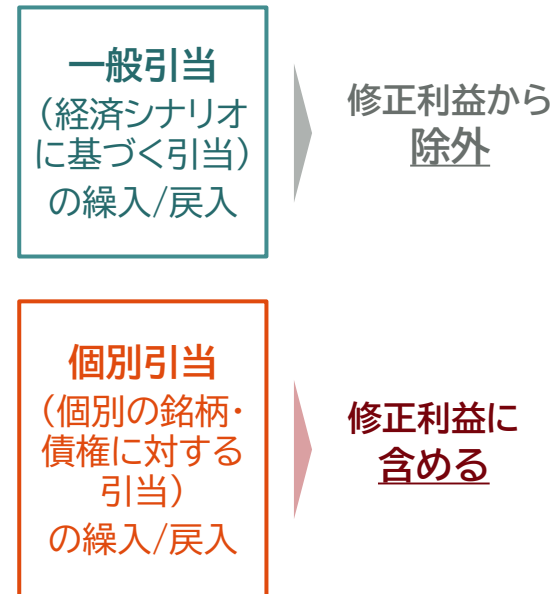
運用やヘッジに係る損益のイメージ



時価変動部分が修正利益から除外される対象項目

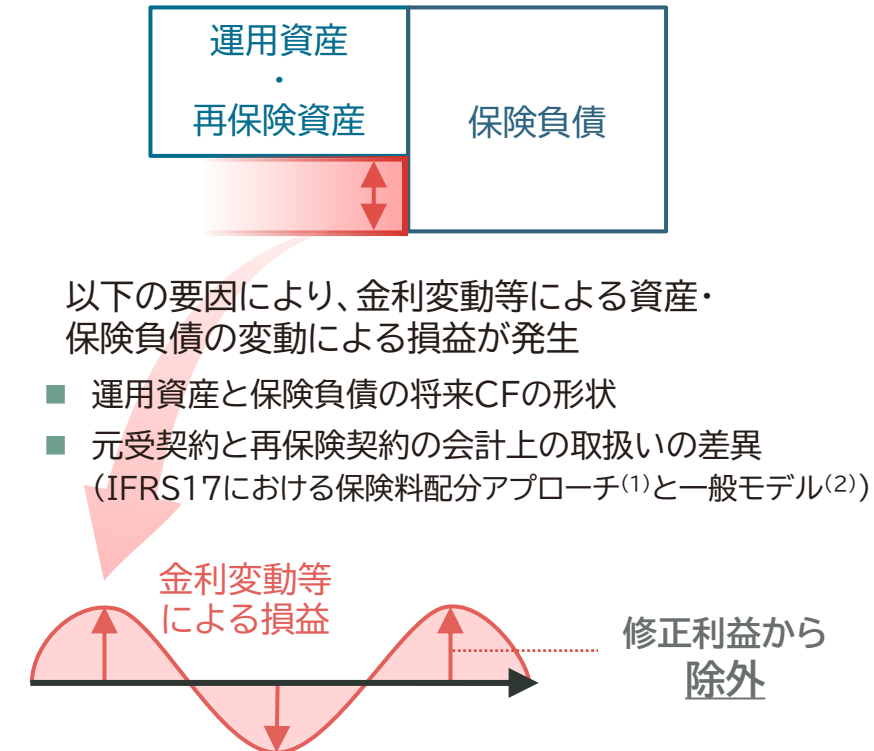
優先株評価損益、修正共同保険式再保険 (Modco) 関連損益、ICOLI損益、最低保証関連損益 (ヘッジ対象とヘッジ手段の双方)、それらに伴うDAC償却の変動等

予想信用損失(CECL)



TAL、パートナーズ・ライフのケース

金利変動等に伴う資産・保険負債の変動



(再掲)主要子会社別 | 27/3期 修正利益通期予想

(単位:億円)	26/3期 実績	27/3 通期予想	増減額	通期予想における主な織込要素
第一生命	3,779	3,710	▲ 70	[+] 順ざや +320(うち 利息配当金収入 +180、予定利息 +160、ヘッジコスト +70) [-] 保険関係損益 ▲370(うちビジネスモデル変革投資 ▲80) キャピタル損益 +100 (うち有価証券売却損益 +1,100、金融派生商品損益▲300、為替差損益▲500等)
第一フロンティア生命	430	385	▲ 45	[-] 前期のターゲット到達に伴う一時益の剥落 ▲80
第一ネオ生命 第一アイペット損保	▲ 45	▲ 45	-	-
PLC	793	845	+ 50	[+] 運用利回り向上・事業費削減効果 +150 [-] LDTI導入影響 ▲65
オセアニア	387	640	+ 250	[+] (TAL)前期の支払い増および前提変更影響の剥落等 +250
アジア・その他海外	12	155	+ 140	[+] (DLVN)前期のアップフロントフィー減損影響の剥落 +80 等
アセットマネジメント事業	190	225	+ 35	[+] (不動産AM) +10
ベネフィット・ワン	31	30	▲ 0	[-] 前期の一過性増益要因の剥落・業務効率改善に向けた一時的な費用増 ▲5
DLRB	192	165	▲ 30	[-] 前期の経済環境(米国社債スプレッド縮小)変動に伴う利益の一部剥落
HD・その他	▲ 254	▲ 450	▲ 200	[-] 事業費・人件費増 ▲150 支払利息の増加 ▲50等
合計	5,515	5,600程度	+100程度	

修正ROE定義および過去実績

修正ROE = [分子] 修正利益 ÷ [分母] 修正ROE用純資産(年度始・年度末平均)

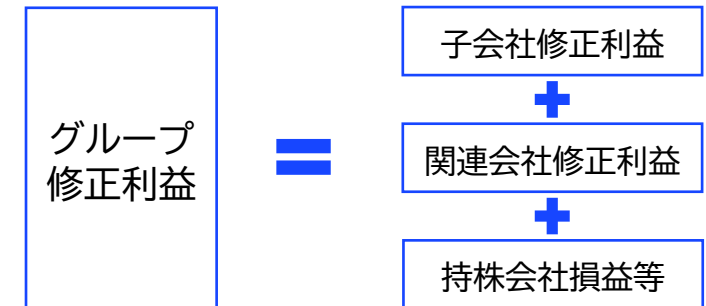
修正ROE用純資産 = 純資産 - のれん - 確定利付資産含み損益(税後)* + 第一フロンティア生命におけるMVA残高(税後)

* DL、DFL、DNL、PLC、PNZの確定利付資産含み損益⁽¹⁾のうち、その他包括利益累計額に計上される金額(税後)

修正ROE過去実績

	22/3期	23/3期 ⁽²⁾	24/3期	25/3期	26/3期
(億円 / %)					
グループ修正ROE	8.0%	4.9%	8.2%	10.7%	12.7%
分子(修正利益)	2,961	1,706	3,194	4,395	5,515
分母(年度始・年度末平均)	37,146	34,518	38,871	41,169	43,568
分母(年度末)	37,445	33,572	44,170	38,844	47,537
[分母算出]					
純資産	44,078	26,613	38,819	34,694	42,540
(-) のれん	562	1,172	1,152	3,284	4,417
(-) 確定利付資産含み損益	6,287	▲ 8,123	▲ 6,489	▲ 7,426	▲ 9,409
(+) [第一フロンティア生命] MVA残高	216	9	14	8	6
修正ROE用純資産	37,445	33,572	44,170	38,844	47,537
うち株主資本	19,963	17,538	18,721	20,146	22,702
第一生命 修正ROE	8.2%	7.3%	8.2%	11.3%	14.4%
分子(修正利益)	1,998	1,656	2,039	2,871	3,779
分母(年度始・年度末平均)	24,506	22,642	24,972	25,478	26,244
分母(年度末)	23,968	21,315	28,628	23,003	28,225
[分母算出]					
純資産	27,570	21,000	28,980	23,468	26,584
(-) 確定利付資産含み損益	3,602	▲ 315	352	465	▲ 1,641
修正ROE用純資産	23,968	21,315	28,628	23,003	28,225
うち株主資本	6,316	5,837	5,526	5,812	6,527

グループ修正利益の定義



【調整①】 [危険準備金繰入額、価格変動準備金繰入額 等
(法定超過分、税後)]
加えて海外子会社・関連会社の内部留保があれば状況に応じて調整

【調整②】 [MVA (市場価格調整) 関連損益(税後) 等]
実質的でない会計上の評価損益を調整

【調整③】 [のれん償却、段階取得損益、持分変動損益 等]
各社連結手続き上の組織再編関連損益やのれん償却等を調整

(1) 主に円建債券・買入金銭債券・為替ヘッジ付外貨建債券・確定利付資産を主たる投資対象とする投資信託等の含み損益と定義

(2) TAL・PNZがIFRS17を適用したことに伴い、23/3期の数値についてIFRS17ベースに遡及修正(グループ連結についても遡及修正を反映)

株主還元方針



株主還元方針

利益に応じた
安定配当

〔配当性向〕 毎期 **50%以上**
※27/3期中間配当より適用

- グループ修正利益過去3年平均をベース
- 1株あたり配当の減配は原則行わない

機動的な
追加還元

- HDキャッシュ、投資パイプラインの状況、ESR、当社株価等を踏まえて機動的かつ柔軟に判断

〔自己株式消却方針〕

用途が見込まれない自己株式は保有しないものとし、用途が見込まれない自己株式を保有している状態が生じた場合には、適切な時期に自己株式の消却を行います

追加還元検討における考慮要素

資本充足率(ESR)水準
市場関連リスク・感応度削減の状況

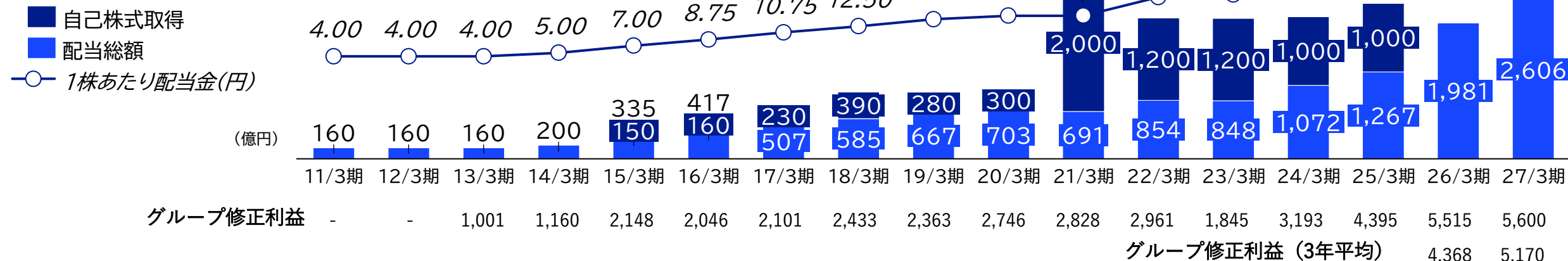
持株会社キャッシュの状況
グループ財務レバレッジ

戦略投資機会の有無
当社株価等

総還元性向に関する目標の廃止

配当性向の目標引き上げに伴い、
総還元性向に係る目標(中期平均50%以上)は廃止

株主還元の推移



(1) TAL・PNZでは24/3期1QからIFRS17を適用しているが、配当計算上のベースとなるグループ修正利益過去3年平均の算出において、過年度数値の遡及適用は行わない。24/3期以前のグループ修正利益は切り捨て、25/3期以降は四捨五入

(2) 数値は、株式分割(4分割)後の配当金(25/3期以前は、株式分割を考慮した換算額)。括弧内は、株式分割前の配当金(25/3期以前は実績、26/3期は換算額)

第一ライフグループ – 連結財務諸表(要約)



連結損益計算書

(億円)	26/3期 1Q	27/3期 1Q	増減
経常収益	23,083	28,930	+ 5,847
保険料等収入	15,875	17,608	+ 1,733
資産運用収益	5,951	10,014	+ 4,063
利息・配当金等収入	3,735	4,216	+ 481
有価証券売却益	1,058	3,597	+ 2,539
金融派生商品収益	187	145	▲ 43
為替差益	-	696	+ 696
特別勘定資産運用益	249	995	+ 746
その他経常収益	1,257	1,309	+ 51
経常費用	22,234	26,419	+ 4,186
保険金等支払金	13,979	18,155	+ 4,176
責任準備金等繰入額	2,411	1,106	▲ 1,305
資産運用費用	2,522	3,414	+ 892
有価証券売却損	743	2,418	+ 1,675
有価証券評価損	17	24	+ 8
為替差損	1,273	-	▲ 1,273
事業費	2,415	2,747	+ 333
経常利益(▲は損失)	849	2,511	+ 1,661
特別利益	10	20	+ 10
特別損失	59	62	+ 3
契約者配当準備金繰入額	230	262	+ 32
税金等調整前四半期純利益(▲は損失)	570	2,207	+ 1,637
法人税等合計	228	606	+ 378
非支配株主に帰属する四半期純利益(▲は損失)	-	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益(▲は損失)	342	1,601	+ 1,258

連結貸借対照表

(億円)	26/3末	26/6末	増減
資産の部合計	741,591	763,227	+ 21,636
現預金・コール	25,657	22,045	▲ 3,611
買入金銭債権	1,860	1,814	▲ 46
有価証券	555,763	573,330	+ 17,567
貸付金	49,971	49,996	+ 24
有形固定資産	12,393	12,309	▲ 84
繰延税金資産	1,252	1,442	+ 190
負債の部合計	699,049	717,497	+ 18,448
保険契約準備金	612,551	619,720	+ 7,169
責任準備金	591,927	598,824	+ 6,896
短期社債	78	319	+ 241
社債	13,373	13,467	+ 94
その他負債	51,090	60,716	+ 9,626
退職給付に係る負債	194	214	+ 20
価格変動準備金	3,575	3,614	+ 39
繰延税金負債	2,334	3,414	+ 1,079
純資産の部合計	42,542	45,731	+ 3,188
株主資本合計	22,702	23,222	+ 520
その他の包括利益累計額合計	19,838	22,507	+ 2,669
その他有価証券評価差額金	13,727	15,760	+ 2,033
土地再評価差額金	541	534	▲ 8

* 以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

*PLCがLDTI (Long-Duration Targeted Improvements)を適用したことに伴い、PLC分については前年同期の数値について遡及適用して開示

*DLが27年3期より、リミテッド・パートナーシップに係る損益の表示方法を変更したことに伴い、DL分については過年度の比較数値についても組替えて表示している。なお、本変更によるネット損益への影響はない。

第一生命 – 財務諸表(要約)



損益計算書

(億円)	26/3期 1Q	27/3期 1Q	増減
経常収益	10,165	14,949	+ 4,784
保険料等収入	5,569	6,249	+ 680
資産運用収益	3,121	6,515	+ 3,394
利息・配当金等収入	1,763	1,976	+ 213
有価証券売却益	1,056	3,465	+ 2,409
為替差益	-	32	+ 32
特別勘定資産運用益	256	945	+ 689
その他経常収益	1,476	2,185	+ 709
経常費用	9,380	12,979	+ 3,599
保険金等支払金	6,428	8,363	+ 1,936
責任準備金等繰入額	22	22	+ 0
資産運用費用	1,320	2,865	+ 1,545
有価証券売却損	731	2,178	+ 1,447
有価証券評価損	3	7	+ 4
金融派生商品費用	156	260	+ 104
為替差損	84	-	▲ 84
事業費	1,011	1,067	+ 56
その他経常費用	599	661	+ 62
減価償却費	105	107	+ 1
経常利益(▲は損失)	786	1,970	+ 1,184
特別利益	8	20	+ 12
特別損失	43	53	+ 10
契約者配当準備金繰入額	230	262	+ 32
税引前四半期純利益(▲は損失)	521	1,675	+ 1,154
法人税等合計	138	484	+ 346
四半期純利益(▲は損失)	383	1,191	+ 809

貸借対照表

(億円)	26/3末	26/6末	増減
資産の部合計	351,853	359,524	+ 7,671
現預金・コール	7,684	8,352	+ 668
買入金銭債権	1,741	1,700	▲ 41
有価証券	289,125	298,671	+ 9,546
貸付金	32,736	32,149	▲ 587
有形固定資産	11,868	11,782	▲ 87
負債の部合計	325,279	332,264	+ 6,985
保険契約準備金	284,549	282,652	▲ 1,897
責任準備金	278,447	276,920	▲ 1,527
危険準備金	5,529	5,529	-
社債	5,768	5,768	-
その他負債	26,732	34,599	+ 7,867
退職給付引当金	2,846	2,725	▲ 121
価格変動準備金	3,005	3,035	+ 30
繰延税金負債	1,662	2,773	+ 1,111
純資産の部合計	26,574	27,260	+ 686
株主資本合計	6,517	4,437	▲ 2,080
評価・換算差額等合計	20,058	22,823	+ 2,766
その他有価証券評価差額金	21,571	24,389	+ 2,817
土地再評価差額金	540	533	▲ 8

*以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

*27/3期より、リミテッド・パートナーシップに係る損益の表示方法を変更したことに伴い、過年度の比較数値についても組替えて表示している。なお、本変更によるネット損益への影響はない。

第一フロンティア生命 – 財務諸表(要約)



損益計算書

(億円)	26/3期 1Q	27/3期 1Q	増減
経常収益	6,972	8,345	+ 1,372
保険料等収入	6,183	6,658	+ 476
資産運用収益	726	1,660	+ 934
為替差益	-	672	+ 672
その他経常収益	64	26	▲ 38
経常費用	6,768	8,028	+ 1,260
保険金等支払金	5,302	6,463	+ 1,161
責任準備金等繰入額	19	1,250	+ 1,230
危険準備金繰入額	20	45	+ 25
資産運用費用	1,220	53	▲ 1,167
為替差損	1,186	-	▲ 1,186
事業費	183	214	+ 31
その他経常費用	44	49	+ 4
経常利益(▲は損失)	204	316	+ 113
特別利益	-	-	-
特別損失	15	9	▲ 6
法人税等合計	56	91	+ 35
四半期純利益(▲は損失)	133	217	+ 84

貸借対照表

(億円)	26/3末	26/6末	増減
資産の部合計	99,515	101,679	+ 2,164
現預金・コール	5,784	3,420	▲ 2,364
有価証券	75,535	77,878	+ 2,343
負債の部合計	97,007	99,814	+ 2,808
保険契約準備金	88,681	89,905	+ 1,224
責任準備金	88,223	89,473	+ 1,250
(MVA残高)	8	0	▲ 8
危険準備金	1,276	1,321	+ 45
純資産の部合計	2,508	1,865	▲ 643
株主資本合計	3,088	2,375	▲ 713
資本金	500	500	-
資本剰余金	1,350	500	▲ 850
利益剰余金	1,238	1,375	+ 137
その他有価証券評価差額金	▲580	▲510	+ 70

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

米プロテクティブ – 財務諸表(要約)⁽¹⁾



損益計算書

(百万米ドル)	25/12期 ⁽²⁾ 1Q	26/12期 1Q	増減
経常収益	2,569	3,258	+ 690
保険料等収入	1,422	1,431	+ 9
資産運用収益	1,010	1,280	+ 270
その他経常収益	137	547	+ 410
経常費用	2,540	3,048	+ 508
保険金等支払金	1,406	1,994	+ 588
責任準備金等繰入額	431	-	▲ 431
資産運用費用	243	561	+ 318
事業費	346	381	+ 35
その他経常費用	115	113	▲ 3
経常利益(▲は損失)	28	210	+ 182
特別利益	-	-	-
特別損失	0	0	▲ 0
法人税等合計	▲1	39	+ 40
四半期純利益(▲は損失)	29	171	+ 142

貸借対照表

(百万米ドル)	25/12末	26/3末	増減
資産の部合計	141,503	142,160	+ 657
現金	1,507	1,536	+ 29
有価証券	87,709	84,611	▲ 3,098
貸付金	14,251	14,331	+ 80
有形固定資産	193	193	▲ 1
無形固定資産	3,503	4,871	+ 1,368
のれん	1,213	2,051	+ 838
その他の無形固定資産	2,229	2,763	+ 533
再保険貸	12,873	12,503	▲ 371
負債の部合計	136,091	137,318	+ 1,228
保険契約準備金	118,273	119,648	+ 1,375
再保険借	8,535	8,610	+ 75
短期社債	50	200	+ 150
社債	2,822	2,821	▲ 1
その他負債	6,361	5,990	▲ 371
純資産の部合計	5,412	4,842	▲ 570
株主資本合計	8,635	8,553	▲ 83
その他の包括利益累計額合計	▲3,223	▲3,711	▲ 488

(1) 米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

(2) LDTI(Long-Duration Targeted Improvements)を適用したことに伴い、前年同期の数値についてもLDTIベースに遡及適用

豪TAL – 財務諸表(要約)⁽¹⁾

損益計算書

(百万豪ドル)	26/3期 1Q	27/3期 1Q	増減
経常収益	2,186	2,378	+ 192
保険料等収入	1,956	2,105	+ 149
保険料	1,565	1,741	+ 176
再保険収入	392	364	▲ 27
資産運用収益	224	242	+ 18
その他経常収益	5	30	+ 25
経常費用	2,031	2,220	+ 189
保険金等支払金	1,532	1,693	+ 161
保険金	1,189	1,348	+ 159
再保険料	343	344	+ 2
責任準備金等繰入額	142	160	+ 18
資産運用費用	13	13	▲ 0
事業費	340	353	+ 13
その他経常費用	4	2	▲ 2
経常利益(▲は損失)	155	158	+ 3
特別損益(▲は損失)	-	-	-
法人税等合計	55	44	▲ 11
四半期純利益(▲は損失)	100	114	+ 14
基礎的収益力	92	123	+ 31

貸借対照表

(百万豪ドル)	26/3末	26/6末	増減
資産の部合計	18,934	19,285	+ 351
現預金	628	832	+ 204
有価証券	11,451	11,583	+ 132
有形固定資産	147	143	▲ 4
無形固定資産	786	786	-
のれん	786	786	-
その他資産	4,905	4,968	+ 62
繰延税金資産	1,017	974	▲ 44
負債の部合計	16,388	16,881	+ 493
保険契約準備金	14,186	14,477	+ 291
その他負債	2,201	2,404	+ 203
純資産の部合計	2,547	2,405	▲ 142
株主資本合計	2,547	2,405	▲ 142
資本金	3,056	3,056	-
利益剰余金	▲509	▲651	▲ 142

(1) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

第一ライフ・ベトナム – 財務諸表(要約)⁽¹⁾



損益計算書

(十億越ドン)	25/12期 1Q	26/12期 1Q	増減
経常収益	5,199	4,965	▲ 234
保険料等収入	4,376	4,009	▲ 367
資産運用収益	822	944	+ 122
その他経常収益	0	12	+ 12
経常費用	4,552	4,106	▲ 446
保険金等支払金	1,351	1,505	+ 154
責任準備金等繰入額	1,758	1,444	▲ 314
資産運用費用	34	-	▲ 34
事業費	1,381	1,134	▲ 247
その他経常費用	27	23	▲ 4
経常利益(▲は損失)	647	859	+ 212
特別利益	1	1	▲ 0
特別損失	3	0	▲ 3
法人税等合計	128	197	+ 69
四半期純利益(▲は損失)	516	663	+ 146

貸借対照表

(十億越ドン)	25/12末 ⁽²⁾	26/3末	増減
資産の部合計	80,549	82,453	+ 1,904
現預金	15,532	17,692	+ 2,161
有価証券	53,873	53,692	▲ 182
貸付金	2,386	2,484	+ 98
有形固定資産	109	102	▲ 7
無形固定資産	33	28	▲ 5
再保険貸	-	-	-
負債の部合計	61,729	62,971	+ 1,241
保険契約準備金	59,712	61,145	+ 1,434
再保険借	80	85	+ 5
その他負債	1,924	1,728	▲ 197
純資産の部合計	18,820	19,483	+ 663
株主資本合計	18,820	19,483	+ 663

(1) ベトナムの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

(2) DLVNの25/12期2Q決算において税務上の取扱いを変更し、一部損金を不算入としたことに伴い、HD連結財務諸表を修正した結果、DLVN単体の財務諸表との間に一部差異が生じた

主要子会社別損益計算書(要約)



(億円)	第一生命 ⁽²⁾			第一フロンティア生命			第一ネオ生命			米プロテクトティブ ⁽¹⁾			豪TAL			第一ライフ・ベトナム			連結 ⁽¹⁾⁽²⁾		
	26/3期 1Q	27/3期 1Q	増減	26/3期 1Q	27/3期 1Q	増減	26/3期 1Q	27/3期 1Q	増減	25/12期 1Q	26/12期 1Q	増減	26/3期 1Q	27/3期 1Q	増減	25/12期 1Q	26/12期 1Q	増減	26/3期 1Q	27/3期 1Q	増減
経常収益	10,165	14,949	+ 4,784	6,972	8,345	+ 1,372	384	407	+ 23	3,840	5,210	+ 1,369	2,066	2,653	+ 587	304	301	▲ 2	23,083	28,930	+ 5,847
保険料等収入	5,569	6,249	+ 680	6,183	6,658	+ 476	354	380	+ 26	2,126	2,288	+ 162	1,849	2,349	+ 500	256	243	▲ 12	15,875	17,608	+ 1,733
資産運用収益	3,121	6,515	+ 3,394	726	1,660	+ 934	3	4	+ 1	1,510	2,047	+ 537	212	271	+ 59	48	57	+ 9	5,951	10,014	+ 4,063
利息・配当金等収入	1,763	1,976	+ 213	484	565	+ 81	3	4	+ 1	1,432	1,607	+ 175	8	6	▲ 1	48	56	+ 9	3,735	4,216	+ 481
有価証券売却益	1,056	3,465	+ 2,409	1	3	+ 3	-	-	-	2	124	+ 123	-	-	-	-	-	-	1,058	3,597	+ 2,539
金融派生商品収益	-	-	-	239	111	▲ 128	-	-	-	75	312	+ 236	-	-	-	-	-	-	187	145	▲ 43
為替差益	-	32	+ 32	-	672	+ 672	-	-	-	0	-	▲ 0	-	-	-	0	0	▲ 0	-	696	+ 696
特別勘定資産運用益	256	945	+ 689	-	50	+ 50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	249	995	+ 746
その他経常収益	1,476	2,185	+ 709	64	26	▲ 38	27	23	▲ 4	204	874	+ 670	5	34	+ 29	0	1	+ 1	1,257	1,309	+ 51
経常費用	9,380	12,979	+ 3,599	6,768	8,028	+ 1,260	399	423	+ 24	3,798	4,874	+ 1,075	1,919	2,477	+ 557	266	249	▲ 17	22,234	26,419	+ 4,186
保険金等支払金	6,428	8,363	+ 1,936	5,302	6,463	+ 1,161	257	279	+ 22	2,102	3,188	+ 1,086	1,448	1,889	+ 441	79	91	+ 12	13,979	18,155	+ 4,176
責任準備金等繰入額	22	22	+ 0	19	1,250	+ 1,230	36	23	▲ 13	644	-	▲ 644	134	178	+ 44	103	88	▲ 15	2,411	1,106	▲ 1,305
資産運用費用	1,320	2,865	+ 1,545	1,220	53	▲ 1,167	0	0	+ 0	363	896	+ 533	12	14	+ 2	2	-	▲ 2	2,522	3,414	+ 892
有価証券売却損	731	2,178	+ 1,447	11	36	+ 25	-	-	-	0	203	+ 203	-	-	-	-	-	-	743	2,418	+ 1,675
有価証券評価損	3	7	+ 4	-	-	-	-	-	-	14	17	+ 4	-	-	-	-	-	-	17	24	+ 8
金融派生商品費用	156	260	+ 104	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
為替差損	84	-	▲ 84	1,186	-	▲ 1,186	-	-	-	-	0	+ 0	0	0	▲ 0	-	-	-	1,273	-	▲ 1,273
特別勘定資産運用損	-	-	-	7	-	▲ 7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
事業費	1,011	1,067	+ 56	183	214	+ 31	95	109	+ 14	518	609	+ 92	321	394	+ 72	81	69	▲ 12	2,415	2,747	+ 333
経常利益(▲は損失)	786	1,970	+ 1,184	204	316	+ 113	▲ 15	▲ 15	▲ 0	42	336	+ 294	146	176	+ 30	38	52	+ 14	849	2,511	+ 1,661
特別利益	8	20	+ 12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	▲ 0	10	20	+ 10
特別損失	43	53	+ 10	15	9	▲ 6	0	0	+ 0	0	0	▲ 0	-	-	-	0	0	▲ 0	59	62	+ 3
契約者配当準備金繰入額	230	262	+ 32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	230	262	+ 32
税金等調整前四半期純利益(▲は損失)	521	1,675	+ 1,154	189	307	+ 119	▲ 15	▲ 15	▲ 0	42	336	+ 294	146	176	+ 30	38	52	+ 15	570	2,207	+ 1,637
法人税等合計	138	484	+ 346	56	91	+ 35	▲ 4	▲ 4	+ 0	▲ 1	63	+ 64	52	49	▲ 3	8	12	+ 4	228	606	+ 378
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
四半期純利益(▲は損失)	383	1,191	+ 809	133	217	+ 84	▲ 11	▲ 11	▲ 0	43	273	+ 230	95	127	+ 33	30	40	+ 10	342	1,601	+ 1,258

(1) PLCがLDTI(Long-Duration Targeted Improvements)を適用したことに伴い、PLC分については前期の数値についてもLDTIベースに遡及適用

(2) DLが27/3期より、リミテッド・パートナーシップに係る損益の表示方法を変更したことに伴い、DL分については過年度の比較数値についても組替えて表示している。なお、本変更によるネット損益への影響はない

主要子会社別貸借対照表(要約)

(億円)	第一生命			第一フロンティア生命			第一ネオ生命			米プロテクトティブ			豪TAL			第一ライフ・ベトナム ⁽¹⁾			連結		
	26/3末	26/6末	増減	26/3末	26/6末	増減	26/3末	26/6末	増減	25/12末	26/3末	増減	26/3末	26/6末	増減	25/12末	26/3末	増減	26/3末	26/6末	増減
資産の部合計	351,853	359,524	+ 7,671	99,515	101,679	+ 2,164	3,603	3,572	▲ 31	221,537	227,286	+ 5,749	20,767	21,515	+ 748	4,789	5,004	+ 215	741,591	763,227	+ 21,636
現預金・コール	7,684	8,352	+ 668	5,784	3,420	▲ 2,364	779	762	▲ 17	2,359	2,456	+ 97	688	928	+ 239	923	1,074	+ 150	25,657	22,045	▲ 3,611
買入金銭債権	1,741	1,700	▲ 41	119	114	▲ 5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,860	1,814	▲ 46
有価証券	289,125	298,671	+ 9,546	75,535	77,878	+ 2,343	1,963	1,925	▲ 37	137,317	135,277	▲ 2,040	12,559	12,922	+ 363	3,203	3,259	+ 56	555,763	573,330	+ 17,567
貸付金	32,736	32,149	▲ 587	-	-	-	17	18	+ 1	22,312	22,913	+ 601	-	-	-	142	151	+ 9	49,971	49,996	+ 24
有形固定資産	11,868	11,782	▲ 87	8	8	▲ 0	3	3	▲ 0	303	308	+ 5	161	160	▲ 1	6	6	▲ 0	12,393	12,309	▲ 84
無形固定資産	1,181	1,185	+ 4	169	167	▲ 1	117	118	+ 1	5,484	7,788	+ 2,304	862	877	+ 15	2	2	▲ 0	9,634	11,796	+ 2,161
繰延税金資産	-	-	-	720	712	▲ 8	29	28	▲ 2	116	339	+ 223	1,116	1,086	▲ 30	5	5	▲ 0	1,252	1,442	+ 190
負債の部合計	325,279	332,264	+ 6,985	97,007	99,814	+ 2,808	3,376	3,356	▲ 20	213,064	219,545	+ 6,481	17,974	18,832	+ 858	3,670	3,822	+ 152	699,049	717,497	+ 18,448
保険契約準備金	284,549	282,652	▲ 1,897	88,681	89,905	+ 1,224	3,273	3,275	+ 2	185,169	191,294	+ 6,125	15,560	16,150	+ 591	3,550	3,711	+ 161	612,551	619,720	+ 7,169
責任準備金	278,447	276,920	▲ 1,527	88,223	89,473	+ 1,250	3,076	3,099	+ 23	183,721	189,708	+ 5,986	3,542	3,555	+ 13	3,467	3,627	+ 160	591,927	598,824	+ 6,896
短期社債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	78	319	+ 241	-	-	-	-	-	-	78	319	+ 241
社債	5,768	5,768	-	-	-	-	-	-	-	4,418	4,510	+ 93	-	-	-	-	-	-	13,373	13,467	+ 94
その他負債	26,732	34,599	+ 7,867	5,698	7,184	+ 1,486	67	47	▲ 20	9,959	9,577	▲ 382	2,414	2,682	+ 267	114	105	▲ 10	51,090	60,716	+ 9,626
退職給付に係る負債	2,846	2,725	▲ 121	-	-	-	-	-	-	78	79	+ 1	-	-	-	1	1	▲ 0	194	214	+ 20
価格変動準備金	3,005	3,035	+ 30	570	579	+ 9	0	0	+ 0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,575	3,614	+ 39
繰延税金負債	1,662	2,773	+ 1,111	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,334	3,414	+ 1,079
純資産の部合計	26,574	27,260	+ 686	2,508	1,865	▲ 643	227	216	▲ 11	8,473	7,741	▲ 732	2,793	2,683	▲ 111	1,119	1,182	+ 64	42,542	45,731	+ 3,188
株主資本合計	6,517	4,437	▲ 2,080	3,088	2,375	▲ 713	229	218	▲ 11	10,403	10,274	▲ 129	2,061	1,900	▲ 161	978	1,018	+ 40	22,702	23,222	+ 520
その他の包括利益累計額合計	20,058	22,823	+ 2,766	▲ 580	▲ 510	+ 70	▲ 2	▲ 1	+ 0	▲ 1,929	▲ 2,532	▲ 603	732	783	+ 51	141	164	+ 23	19,838	22,507	+ 2,669
その他有価証券評価差額金	21,571	24,389	+ 2,817	▲ 580	▲ 510	+ 70	▲ 2	▲ 1	+ 0	▲ 7,168	▲ 8,304	▲ 1,136	-	-	-	-	-	-	13,727	15,760	+ 2,033
土地再評価差額金	540	533	▲ 8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	541	534	▲ 8

(1)DLVNの25年12期 2Q決算において税務上の取扱いを変更し、一部損金を不算入としたことに伴い、HD連結財務諸表を修正した結果、DLVN単体の財務諸表との間に一部差異が生じた

再掲 | 第一フロンティア生命の減資

- ▶ ソルベンシー・マージン規制が経済価値ベースに移行することに伴い、新規制において求められる資本水準を踏まえ一定の資本解放が可能となるため、関係当局の認可を前提として資本金および準備金を減少させる
- ▶ グループ内資本の効率的な活用を目指す「資本循環経営」の考え方にに基づき、本取扱いにより生じる剰余金をHDへの配当および成長事業への再配分に充当することを通じて、当社グループの資本効率および企業価値の向上を目指す。新経済価値規制の導入を受けた3月末のDFLの資本健全性等を踏まえた上で、減資部分を含めたHDへの配当金額を決定する予定

金額の詳細

(億円)	減額前	変動額	減額後	振替先
資本金	1,175	▲675	500	その他資本剰余金
資本準備金	675	▲175	500	その他資本剰余金
利益準備金	80	▲80	0	繰越利益剰余金

スケジュール

認可申請	2026年2月
効力発生日	2026年3月23日

資本循環経営

- ✓ 当社グループは、稼得資本およびリスク削減により解放された資本を財源として、財務健全性を確保しつつ高資本効率・高成長事業へ資本を再配分し、資本・キャッシュ創出の好循環を通じた企業価値向上を目指す「資本循環経営」を推進
- ✓ 本取組みにより創出される資本は、グループ全体の財務戦略に取り込むため、HDへの配当原資として活用する予定



第一フロンティア生命

→ 配当

第一生命
ホールディングス

成長投資や株主還元等の財源として資本を戦略的に活用

今後のIRイベント - 予定

当社主催 (~2026/11)	イベント		主な登壇者
	2026年8月31日	CFOダイアログ	グループCFO PLC CFO
	10月13日	Special IR Meeting with 社外取締役 Special IR Meeting (サステナビリティ説明会)	社外取締役 グループCSuO
	11月13日	27/3期2Q 決算電話会議	グループCFO
	11月27日	決算経営説明会	グループCEO グループCFO
IR カンファレンス (~2026/10)	主催者		主な登壇者
	2026年9月3日	BofA証券	グループCFO
	9月18日	みずほ証券	グループCEO
	10月20・21日	シティグループ証券 (シドニー)	グループCFO

グループ会社一覧・出資比率・決算期

国内保険事業			出資比率	決算期	非保険事業(アセットマネジメント事業・新規事業)		
DL	第一生命		100%	4-3月	AMO	アセットマネジメントOne	49%(議決権) 30%(経済持分) 4-3月
DFL	第一フロンティア生命		100%				
DNL	第一ネオ生命		100%		AMO(US)	アセットマネジメントOne(USA) [米国] Asset Management One USA	49%(議決権) 30%(経済持分) 1-12月
DIPT	第一アイペット損保		100%		VTX	バーテックス・インベストメント・ソリューションズ	100% 4-3月
海外保険事業					CP	キャニオン・パートナーズ [米国] CP New Co	19.9% 1-12月
PLC	プロテクティブ	[米国] Protective Life Corporation	100%	1-12月	BO	ベネフィット・ワン	100% 4-3月
TAL	TAL	[豪州] TAL Daiichi Life Australia	100%	4-3月		キャプラ・インベストメント [英国] Capula Investment Management	15% 1-12月
PNZ	パートナーズ・ライフ	[ニュージーランド] Partners Group Holdings	100%			And Do ホールディングス	15.7% 7-6月
DLVN	第一ライフ・ベトナム	[ベトナム] Dai-ichi Life Insurance Company of Vietnam	100%	1-12月	DMRE	第一ライフ丸紅リアルエステート	50% 4-3月
DLKH	第一ライフ・カンボジア	[カンボジア] Daiichi Life Insurance (Cambodia)	100%				
DLMM	第一ライフ・ミャンマー	[ミャンマー] Daiichi Life Insurance Myanmar	100%				
SUD	スター・ユニオン・第一ライフ	[インド] Star Union Dai-ichi Life Insurance Company	47.4%	4-3月			
PDL	パニン・第一ライフ	[インドネシア] PT Panin Dai-ichi Life	40%	1-12月			
					その他		
					DLRB	第一ライフ・リー・バミューダ [バミューダ] Daiichi Life Reinsurance Bermuda	100% 1-12月

本資料の問い合わせ先 株式会社第一ライフグループ 経営企画ユニット IRグループ

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、株式会社第一ライフグループ(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としています。その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。